FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

FinePix2700

使用説明書

この説明書には、フジフイルムデジタルカメラファインピックス2700の使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

目　次

4 応用編 再生

5 その他

1
2
3
4
5

はじめに

▶ ご使用の前に必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

■撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをして、カメラが正常に機能するかを事前に確認してください。

＊本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やデータの記録されたメモリーカードの伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- **皮膚に付着した場合：**
  付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- **目に入った場合：**
  きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- **飲み込んだ場合：**
  水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本カメラは第2種情報処理装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で、住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しています。しかし本カメラをラジオ、テレビジョン受信機に近づけてお使いになると、受信障害の原因となることがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- この機器を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤動作の原因となることがあります。

■製品の取り扱いについて

本製品は、精密な電子部品で構成されておりますので、画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像データが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■商標について

- Macintoshは、Apple Computer, Inc.の商標です。
- MS-DOS、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- SmartMediaは株式会社 東芝の商標です。
- その他の社名と商品名は各社の商標または登録商標です。

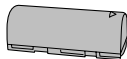
カメラの特長/付属品

主な特長

- 230万画素CCDとフジノンレンズによる超高画質
- 記録画素数 最大1,800×1,200ピクセル
- 小型軽量アルミ合金ボディ
- 2インチ13万画素低温ポリシリコンTFT液晶
- 広範囲な撮影領域(マクロ機能付)/オートフォーカス
- 高精度でワイドレンジな調光が可能なオートストロボ
- 撮影条件の細かな設定が可能なマニュアル撮影モード
- 手軽に画像加工がその場で楽しめるエフェクト機能
- モードダイヤルと十字ボタンによる簡単操作
- 大容量メモリーカード・スマートメディア対応
- 充電式リチウムイオンバッテリー採用
- 撮影日時の記録・再生機能
- パソコンとの画像データの送受信が可能なPCモード
- Exif Ver.2.1対応:多くの画像アプリケーションソフトでそのまま利用可能
- DPOF対応でプリント注文が簡単に
(DPOFについては、別冊デジタルカメラ活用の手引き—FinePix2700編— で詳しくご説明しています。)

＊フロッピーディスクアダプター FD-A2BやPCカードアダプター PC-AD3B、イメージメモリーカードリーダー SM-R1を使えばパソコンとの連携も一層便利です。

付属品

●充電式バッテリー NP-80(容量1,100mAh)(1本) 付属品:使用説明書(1部)

●ハンドストラップ(1本)

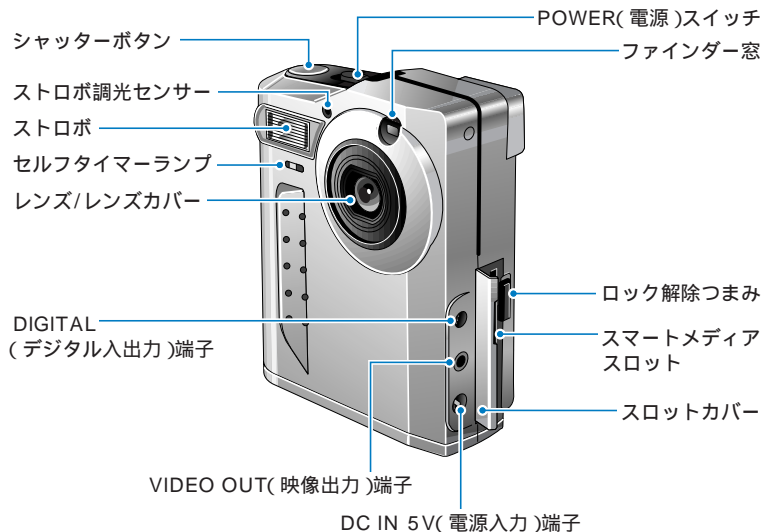
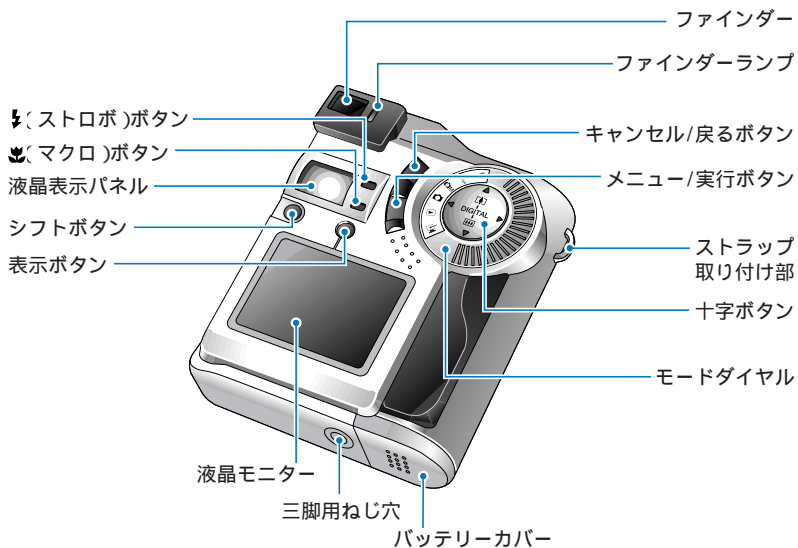
●ACパワーアダプター AC-5V(接続コード:約2m)(1台)
付属品:使用説明書(保証書付)(1部)

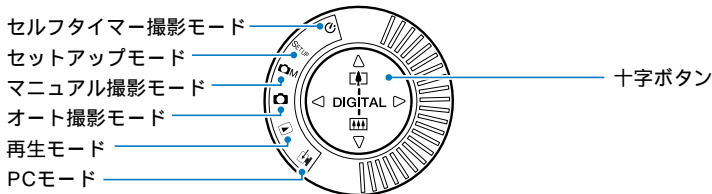
●ビデオケーブル(φ3.5mmミニプラグ×ピンプラグ約1.5m)(1本)

●使用説明書(本書)(1部)
●デジタルカメラ活用の手引き —FinePix2700編— (1部)
●安全上のご注意(1部)
●保証書(1部)

各部の名称

POWER（電源）スイッチ
ファインダー窓
シャッターボタン
ストロボ調光センサー
ストロボ
セルフタイマーランプ
レンズ/レンズカバー
ロック解除つまみ
スマートメディア
スロット
DIGITAL
（デジタル入出力）端子
スロットカバー
VIDEO OUT（映像出力）端子
DC IN 5V（電源入力）端子

ファインダー
ファインダーランプ
(ストロボ)ボタン
(マクロ)ボタン
液晶表示パネル
シフトボタン
表示ボタン
キャンセル/戻るボタン
メニュー/実行ボタン
ストラップ
取り付け部
十字ボタン
モードダイヤル
液晶モニター
三脚用ねじ穴
バッテリーカバー
DIGITAL

各部の名称

モードダイヤル

：**セルフタイマー撮影モード（➡P46）**
約10秒のセルフタイマー撮影ができます。

SETUP ：**セットアップモード（➡P48）**
クオリティー、ピクセル、シャープネス、オートパワーオフ、 LCD、コマNo.メモリー、ビープ♪（ブザー音）、日時、リセットの設定が行えます。

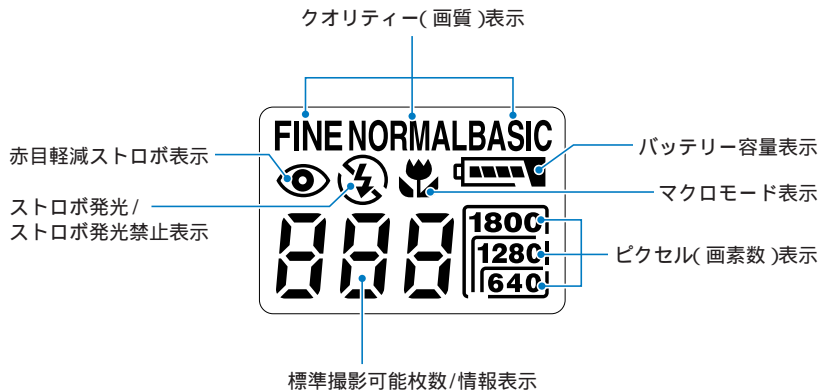
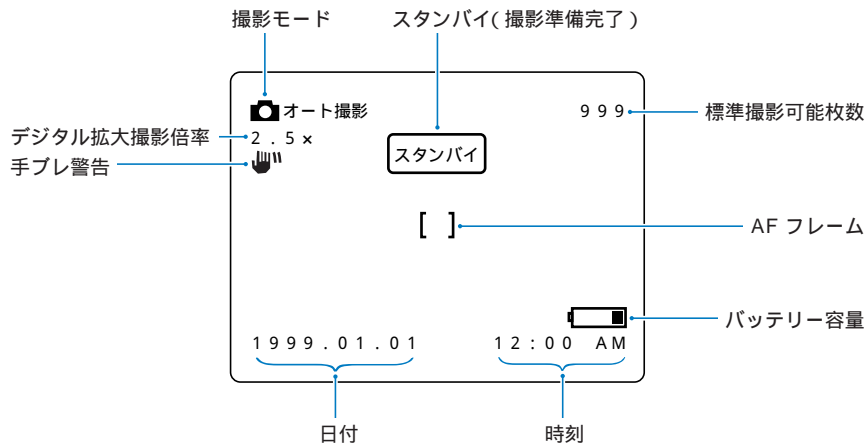
M ：**マニュアル撮影モード（➡P41）**
撮影画像を確認したあとに記録できます。またホワイトバランス、明るさ（露出）、ストロボの明るさ、夜景（スローシンクロ）の設定ができます。

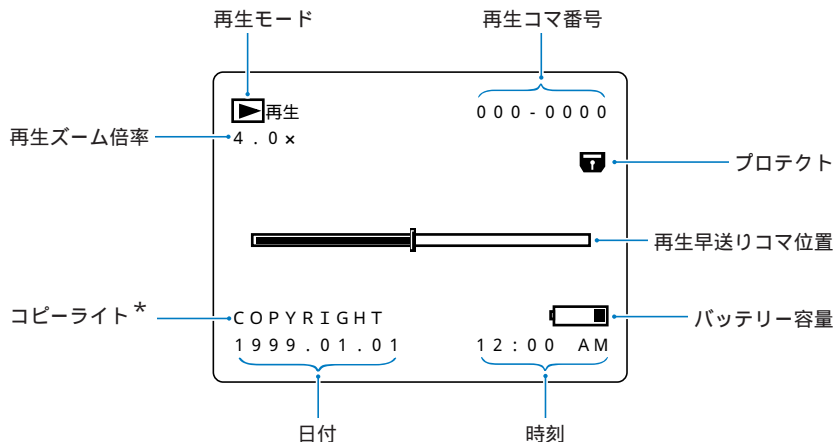
：**オート撮影モード（➡P24）**
撮影状況に応じて露出などをカメラが自動的に制御する、簡単で使いやすい撮影方法です。特別な撮影意図のない、一般的な撮影に最適です。

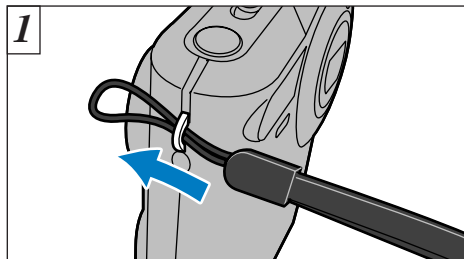
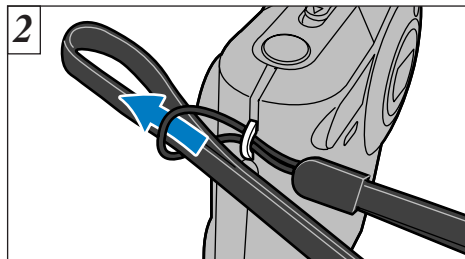
：**再生モード（➡P29、P51）**
通常の1コマ再生の他に再生ズーム、マルチ再生ができます。その他、コマの消去やフォーマット、エフェクト、オートプレイ、リサイズ、プロテクト、DPOF（➡別冊デジタルカメラ活用の手引き）の設定ができます。

：**PCモード（➡別冊デジタルカメラ活用の手引き）**
パソコンに画像を取り込むときに使用します。

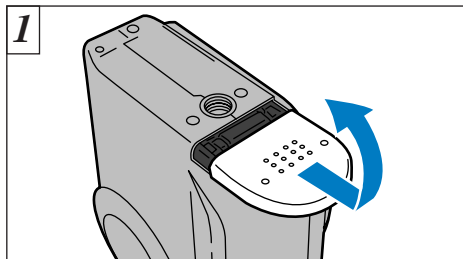
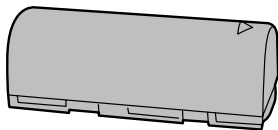
液晶表示パネル

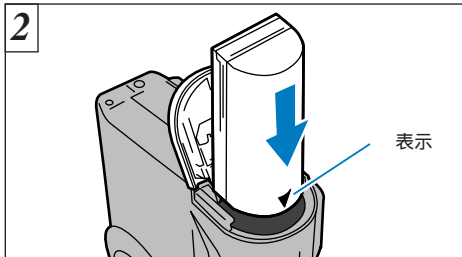
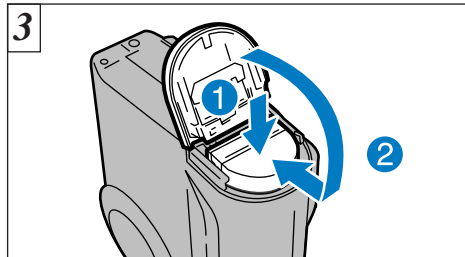
クオリティー（画質）表示
FINE NORMAL BASIC
赤目軽減ストロボ表示
バッテリー容量表示
マクロモード表示
ストロボ発光/
ストロボ発光禁止表示
1800
1280
640
ピクセル（画素数）表示
標準撮影可能枚数/情報表示

各部の名称

液晶モニターの文字表示例・撮影

液晶モニターの文字表示例・再生

＊コピーライトは、別売インターフェースバリューセットに付属のソフトウェアで、著作権情報を入力したカメラで撮影した画像のときに表示されます。詳しくはソフトウェアに付属の使用説明書をご覧ください。

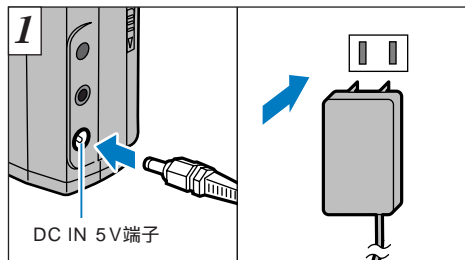
ストラップを取り付けます

ストラップの小さい方の輪を、ストラップ取り付け部に通します。

次に大きい方の輪の端を、小さい方の輪の中に通して引っ張ります。

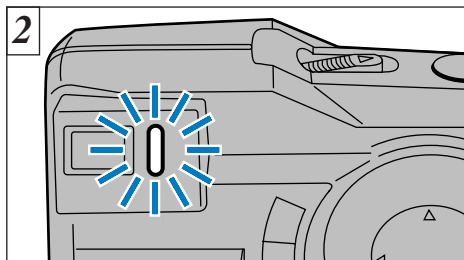
使用するバッテリー

充電式バッテリー NP-80
（容量1,100mAh）1本

“ バッテリーカバー ”を矢印のようにスライドさせてから開きます。

- 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- バッテリーについて、詳しくは70ページ、79ページをご参照ください。
- バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。
- バッテリーを交換するときは、必ず電源を切ってください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けると、各種設定が工場出荷設定に戻ります。

バッテリーの“▼”表示がある側よりバッテリーを入れ、奥まで押し込んでください。

①バッテリーを押し込みながら②“バッテリーカバー”を閉めます。

❗バッテリーを入れる方向にご注意ください。金色の端子のある側からバッテリーを入れます。

バッテリーを充電します

カメラの電源が切れていることを確認してから、ACパワーアダプターの接続プラグをカメラの“DC IN 5V端子”に差し込みます。その後、ACパワーアダプターを電源コンセントに差し込みます。

❗接続プラグがカメラに正しく差し込まれていないと、充電されません。

約3秒後にファインダーランプが橙色に点灯し、充電が開始されます。充電が完了するとファインダーランプが消灯します。

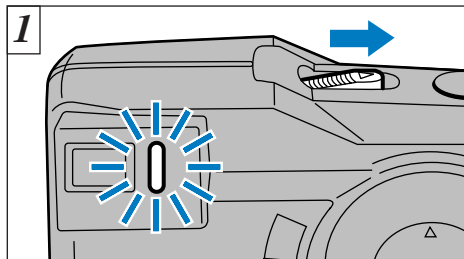
❗使いきったバッテリーの充電時間は約8時間です。

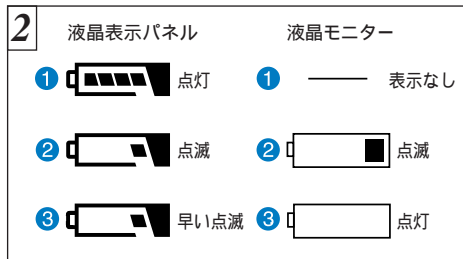
❗フル充電に近いバッテリーは充電しませんが故障ではありません。

◆ACパワーアダプター◆

ACパワーアダプターは必ず専用の「AC-5V」をお使いください。
＊AC-5V以外をお使いになると、本機の故障の原因となることがあります。
＊ACパワーアダプターについて、詳しくは71ページをご参照ください。

1

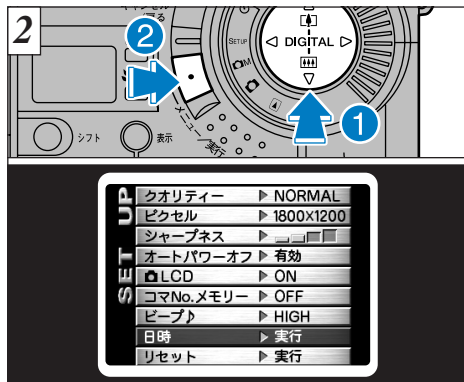
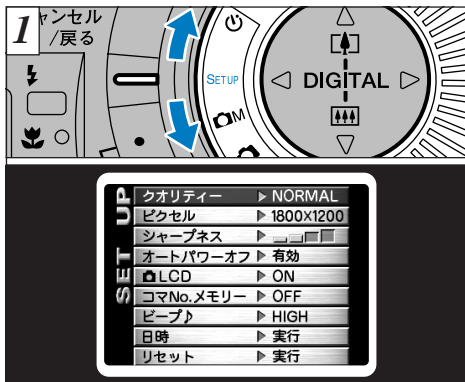
電源のON/OFF

電源を入/切するには、電源スイッチを矢印方向にスライドさせます。電源を入れるとファインダーランプ [緑] が点灯します。

- 撮影モード“ 📷 ”“ 📷M ”で電源を入れると、レンズカバーが開きます。電源を切るとカバーが閉じます。
- オートパワーオフ機能有効時は、電源を入れたまま約2分間放置すると、電源が自動的に切れます。オートプレイとPCモードでは、オートパワーオフは機能しません。オートパワーオフの設定は48ページをご参照ください。
- 充電中に電源を入れると、充電が中断されます。
- 表示ボタンを押しながら電源を入れると、オープニング画面の表示/非表示が切り換えできます。

電源を入れ、バッテリー容量表示を確認します。
1 バッテリーの容量は十分です。
2 バッテリーの容量が不足しています。まもなく電源が切れますので、バッテリーを交換するか充電をおすすめします。
3 バッテリーの容量がありません。表示が消えて動作を終了します。バッテリーを交換するか充電をしてください。

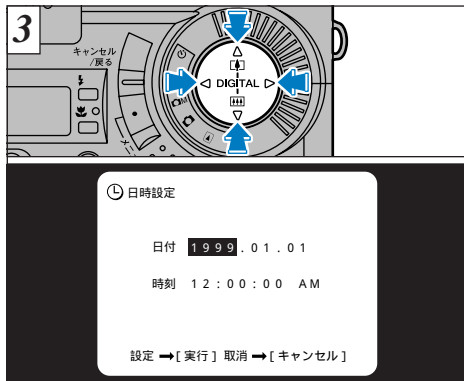
- 液晶モニターの日時が点滅表示された場合は、日時を設定してください (➡次ページ)。

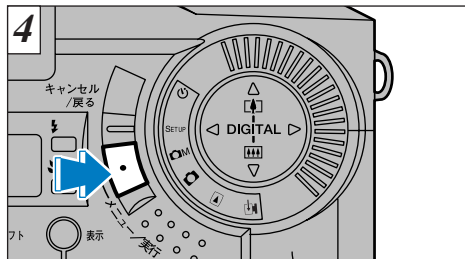
日時の合わせかた

モードダイヤルを“ SETUP ”に合わせ、SETUP画面を表示します。

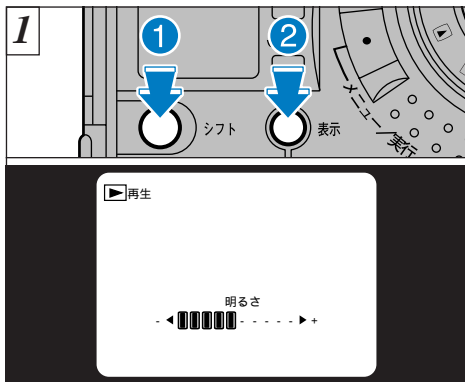
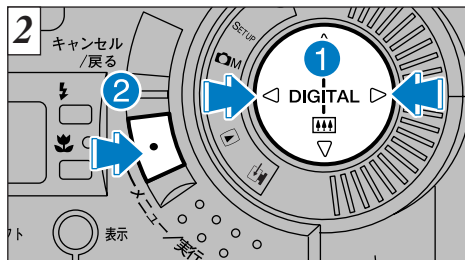
❶十字ボタンの“ ▼ ”を押して“ 日時 ”を選択し、❷“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

! SETUPモードのメニューについて、詳しくは48ページをご参照ください。

! 設定した日時は、ACアダプターを接続またはバッテリーを入れて約1時間以上経過していれば、バッテリーを取り出して放置しても、約1時間保持されます。

3

十字ボタンの“ ◀ ▶ ”を押して合わせたい項目（年・月・日・時・分）を選び、“ ▲▼ ”を押して修正します。

4

合わせ終わったあと、“ メニュー/実行 ”ボタンを押して設定します。

❗時報に正確に合わせたいときは、時報のゼロ秒時に“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

液晶モニターの明るさ調整

モードダイヤルを 📷、📷M、⏱ にすると設定を変更できます。①“ シフト ”ボタンを押しながら ②“ 表示 ”ボタンを押すと、明るさ調整画面が表示されます。

①十字ボタンの“ ◀ ▶ ”を押して明るさを調整します。 ②“ メニュー/実行 ”ボタンを押して決定します。

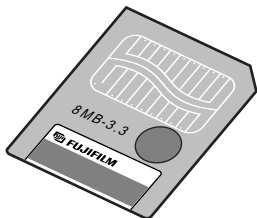
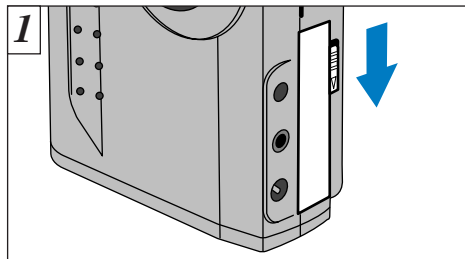
1

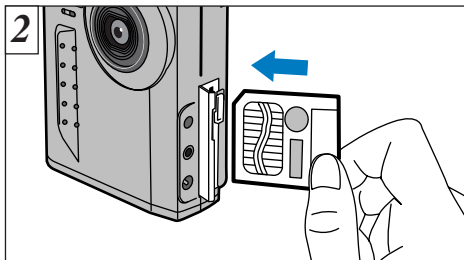
❗液晶モニターがOFFのままでは設定を変更できません。

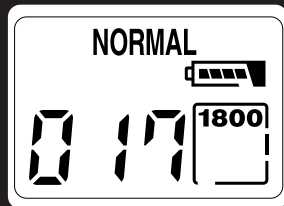
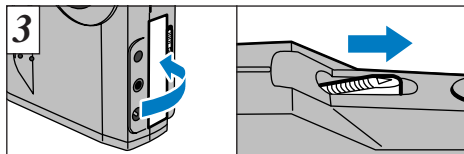
❗設定を変更しない場合は、“ キャンセル/戻る ”ボタンを押してください。

スマートメディア™をセットします

スマートメディア™

スマートメディアは必ず3.3V仕様をお使いください。
MG-4SB(4MB)・MG-8SB(8MB)・
MG-16SB(16MB)・MG-32SB(32MB)

- 5V仕様のスマートメディアは使用できません。
- ライトプロテクトシールがはられていると、記録、消去ができません(➡P65)。
- 本カメラでの動作保証は弊社製スマートメディアのみとなります。
- スマートメディアについて、詳しくは72ページをご参照ください。

電源が切れていることを確認し、スロットカバーのロックを外します。

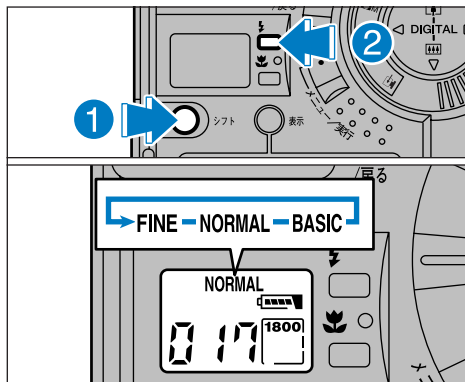
- 電源が入った状態でスロットカバーを開けると、スマートメディア保護のため、自動的に電源が切れます。

カメラとスマートメディアの向きを図のようにして、スマートメディアスロットにスマートメディアを確実に奥まで差し込みます。

スマートメディアの向きが間違っていると奥まで入りません。また、スマートメディアに無理な力を加えないでください。

スロットカバーを閉めて電源を入れると、液晶表示パネルに標準撮影可能枚数が表示されます。

被写体（画像の細かさなど）によって記録されるデータ量が一定ではないため、実際に撮影できる枚数と異なる場合があります。

“ CARD ERROR ”が表示された場合は、まずスマートメディアの電極部（金色の部分）を乾いた柔らかい布などで軽くふいてから、再度セットしてください。また、スマートメディアのフォーマットが必要な場合があります（➡P54）。

2

クオリティー設定

❶シフトボタンを押しながら❷“ ⚡ ”ストロボボタンを押すと、[FINE]［NORMAL］［BASIC］を切り換えることができます。変更後の設定は液晶表示パネルに表示されます。

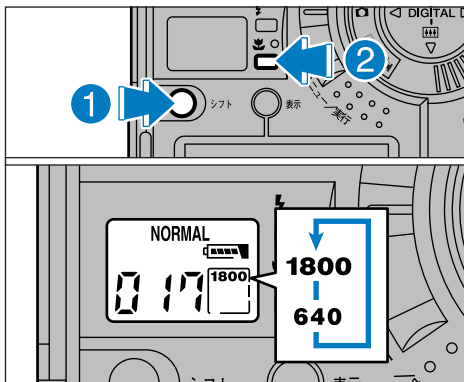
撮影の目的に合わせて、3種類の画質（記録画像の圧縮率）を選べます。
画質によって標準撮影可能枚数が変わります。スマートメディアの標準撮影枚数については78ページをご参照ください。
画質を優先する場合は［FINE］を、コマ数を優先する場合は［BASIC］を選んでください。

- モードダイヤルを 、M、 にすると設定を変更できます。
- 液晶モニターがONの場合、シフトボタンを押すと操作ガイダンスが表示されます。

ピクセル設定

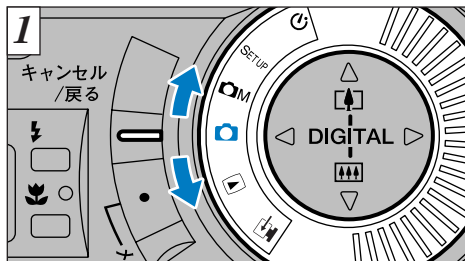
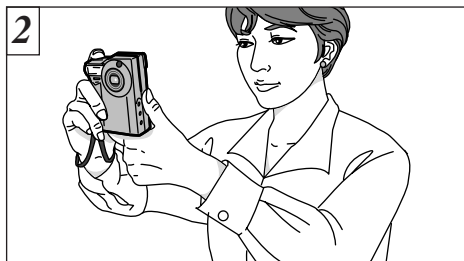
❶シフトボタンを押しながら❷“ ”マクロボタンを押すと、［1800］［640］を切り換えることができます。変更後の設定は液晶表示パネルに表示されます。

モードダイヤルを 、 M 、 にすると設定を変更できます。

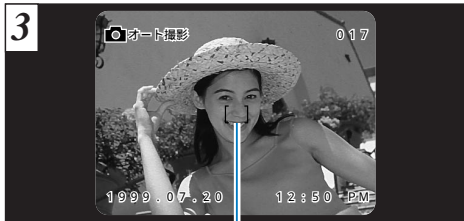
液晶モニターがONの場合、シフトボタンを押すと操作ガイダンスが表示されます。

撮影の目的に合わせて、2種類の画素数（ピクセル/画像サイズ）を選べます。画素数によって標準撮影枚数が変わります。スマートメディアの標準撮影枚数については78ページをご参照ください。

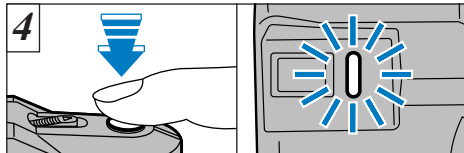
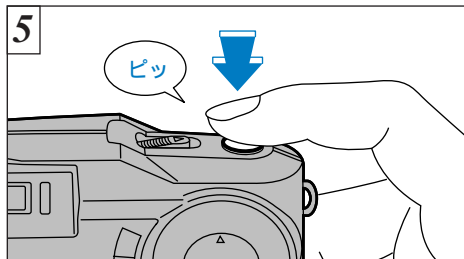
- 1800 ：1,800×1,200ピクセル
- 640 ： 640× 480ピクセル

2

さあいよいよ撮影です（オート撮影）

モードダイヤルを“ ”に合わせます。

ストラップに手首を通し、液晶モニターを正面から見るように、脇をしめて両手でカメラを構えます。

- 液晶モニターの日時が点滅表示された場合は、日時を設定してください（➡P17）。
- ファインダーを使った撮影は38ページをご参照ください。
- レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は69ページを参照してレンズをきれいにしてください。

- 撮影するときカメラが動くと、画像がブレる原因となります。
- レンズやストロボに、指やストラップがかからないようにしてください。

液晶モニターを見ながら、被写体がAF（オートフォーカス）フレーム全体を満たすようにねらいます。

❗液晶モニターが見にくい場合は、液晶モニターの明るさを調節してください（➡P19）。

シャッターボタンを半押しして液晶モニターに“ スタンバイ ”と表示（およびファインダーランプ［緑］が点滅から点灯）されれば、ピント合わせは完了です。

❗50cm以内に近づくと“ スタンバイ ”と表示されてもピントが合いません。その場合は マクロモードで撮影してください（➡P36）。

❗暗くてピントが合わない場合は、被写体から1.5m以上離れて撮影してください。

2

半押しのままさらにシャッターボタンを押すと、“ピッ”と音が鳴り撮影されます。続いてデータが記録されます。

- データ記録中はファインダーランプが橙色に点灯し、撮影することはできません。また、データ記録中は電源を切ったり、スロットカバーを開けないでください。
- ストロボ充電中はファインダーランプが橙色に点滅します。
- 被写体（画像の細かさなど）によって記録されるデータ量が一定ではないため、記録後の標準撮影可能枚数が減らないか、または2コマ減る場合があります。
- 警告表示については、74ページをご参照ください。

◆オートフォーカスの苦手な被写体◆

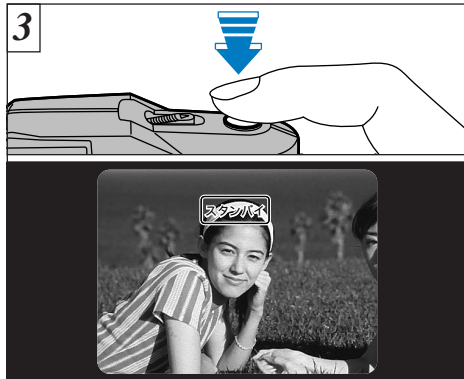
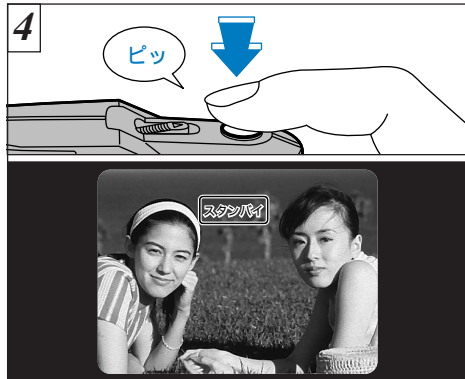
このカメラは、正確なオートフォーカス機構を採用していますが、次のような条件・被写体に対してはオートフォーカスが働きにくく、ピントが合わない状態で撮影されることがあります。

- 高速で移動する被写体
- 鏡・車のボディーなど光沢があるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮のように光を反射しにくいもの
- 煙や炎などのように実体のないもの
- 被写体が遠くて暗いとき
- 被写体の明暗差がはっきりしないとき（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 被写体の手前や後方に物体が共存するとき（オリの中の動物や木の前の人物など）

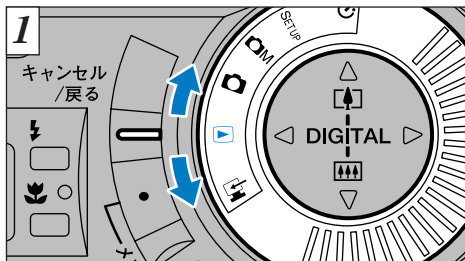
AF（オートフォーカス）ロック撮影

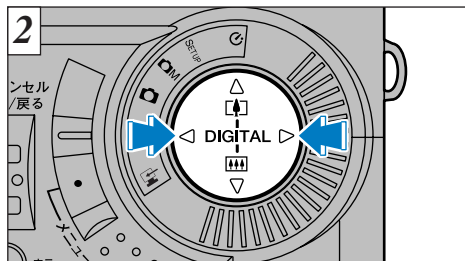
このような構図では被写体（この場合は人物）がAFフレームから外れています。

被写体がAFフレームに入るようにカメラを少し動かします。

2

そのままシャッターボタンを半押し（AFロック）し、液晶モニターに“ スタンバイ ”と表示（ファインダーランプ［緑］が点滅から点灯）されるのを確認します。

シャッターボタンを半押し（AFロック）のまま最初の構図に戻して、さらにシャッターボタンを押します。

! AFロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。
! AFロック撮影は、どのような撮影方法でも有効です。AFロックをうまく活用しましょう。

▶ 画像を見るには（再生）

モードダイヤルを“ ▶ ”に合わせます。

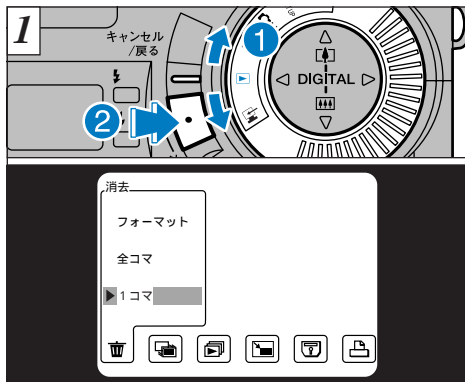
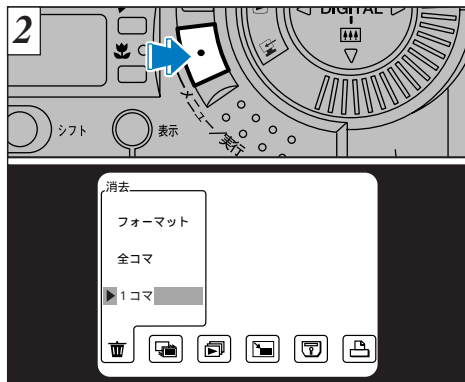
❗モードダイヤルを“ ▶ ”に合わせたときは、最後に撮影した画像が表示されます。

十字ボタンの“ ▶ ”順送り、“ ◀ ”逆送りで画像を見ることができます。

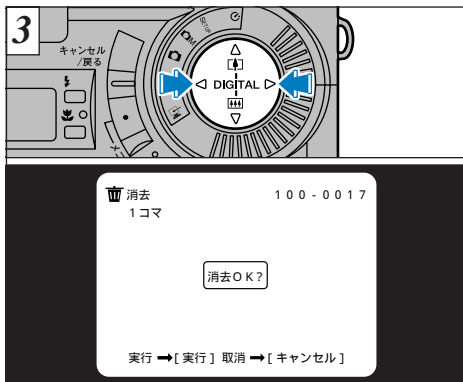
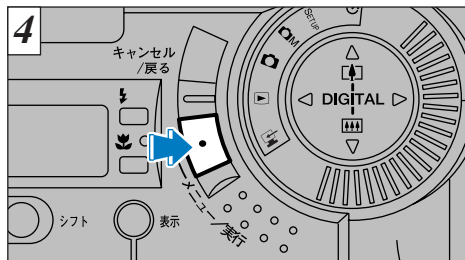
❗“ ◀ ”“ ▶ ”を約3秒間押し続けると、液晶モニターに早送り ━━━━┿━━━━ の表示が出ます。

2

◆再生できるデータについて◆

本機で記録した画像データ、または弊社製デジタルカメラ ファインピックスシリーズ、クリップイット80/50、DS-30/20/10およびDS-250HDで、3.3V仕様のスマートメディアに記録した画像データを再生できます。

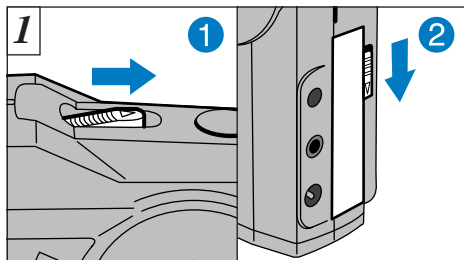
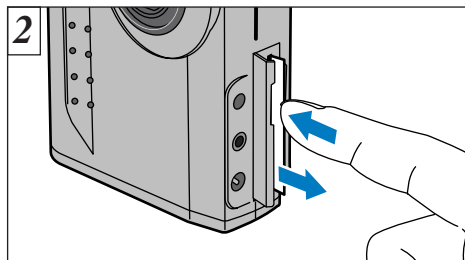
▶ ➡ 🗑 画像を消すには（1コマ消去）

❶ モードダイヤルを“ ▶ ”に合わせ、❷“メニュー/実行”ボタンを押すと液晶モニターにメニューが表示されます。

“ 🗑 消去”の“1コマ”が選択された状態で、“メニュー/実行”ボタンを押します。

❗再生モードのメニューについて、詳しくは54ページをご参照ください。

十字ボタンの“ ◀ ▶ ”を押して消去したい画像を表示します。

“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと、表示している画像が消去されます。消去が終わると次の画像が再生され、“ 消去OK? ”が表示されます。

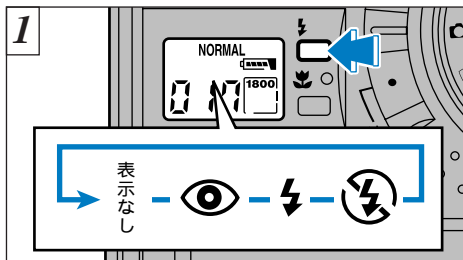
❗途中でキャンセルしたい場合は、“ キャンセル/戻る ”ボタンを押してください。

❗消去を続けるには、「3」からの操作を繰り返します。

❗“ ❗PROTECT ”が表示された場合、プロテクトを解除する必要があります（➡P62）。

スマートメディア™を取り出します

①画像記録中でないことを確認し、電源を切ります。
②図のようにスロットカバーのロックを外します。

スマートメディアを「軽く押し込む」と、スマートメディアが少し飛び出しますので、簡単に取り出せます。

❗電源を切らずにスロットカバーを絶対に開けないでください。スマートメディア、または画像データが破壊されることがあります。

❗スマートメディアを保管するときは、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。

ストロボモード

撮影の目的に合わせて、4種類のストロボモードを選べます。“ϟ”ストロボボタンを押すたびに、液晶表示パネルにAUTO（表示なし）→👁→ϟ→ⓧの順に表示され、最後に表示したモードが選択されます。

オートストロボモード（表示なし）

特別な撮影意図のない一般的な撮影に使用します。撮影状況に応じて、ストロボが自動的に発光します。

! スローシンクロ撮影は44ページをご参照ください。

赤目軽減ストロボモード

暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。
撮影前にストロボが1回プレ発光し、2回目に撮影のためのストロボが発光します。

◆赤目現象について◆

人物を暗いところでストロボ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、ストロボの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするために、赤目軽減ストロボモードを積極的にご利用ください。
赤目軽減ストロボモードを使用するとともに、

- 撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
- なるべく近付いて撮影する

などするとより効果的です。

強制発光（日中ストロボ）モード

窓際や木陰などの逆光撮影、蛍光灯などの照明の下で適正な色に撮りたいときに使用します。明るいところでもストロボ撮影が行われます。

ストロボ発光禁止モード

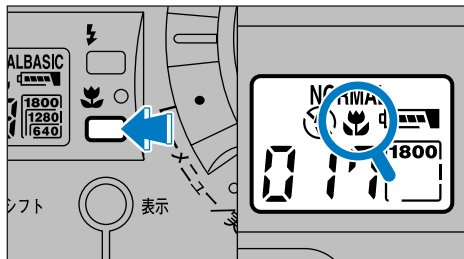
ストロボの発光を禁止します。
室内照明を利用しての撮影、舞台や室内競技などのストロボ光が届かない距離での撮影などに使用します。この場合、オートホワイトバランス（➡P68）が働き、周囲光の雰囲気を残しつつ自然な色に撮ることができます。

❗ 暗い場所で発光禁止モードで撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。また、暗くてピントが合わない場合は、被写体から1.5m以上離れて撮影してください。

❗ 手ブレ警告については、P40、P75をご参照ください。

3

マクロモード（近距離撮影）

“ ”マクロボタンを押すと液晶表示パネルに“ ”が表示され、マクロモードになります。もう一度“ ”マクロボタンを押すと、マクロモードが解除されます。

マクロモードでは、約9cm〜約50cmの範囲で近距離撮影ができます。また、ストロボは自動的に“ 発光禁止 ”に設定されます。

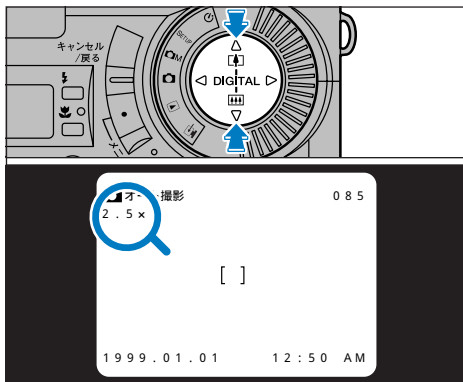
＊暗い場所で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

＊ストロボを発光させる場合は“ ”ストロボボタンを押して“ 強制発光 ”に設定してください。ストロボの強さの調整は、マニュアル撮影モード（➡P44）で可能です。また、ストロボモードのオートは使用できません。

! 液晶モニターは自動的にONになります。

! マクロモードでファインダーを使うと、ファインダー窓とレンズの位置が違うため、実際に見える範囲と写る範囲にズレが生じます。そのため、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

デジタル拡大撮影

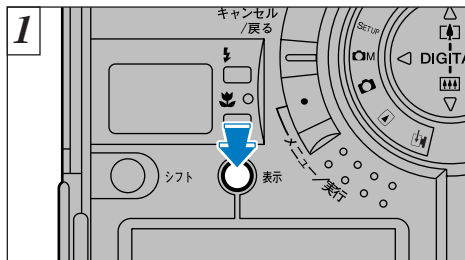
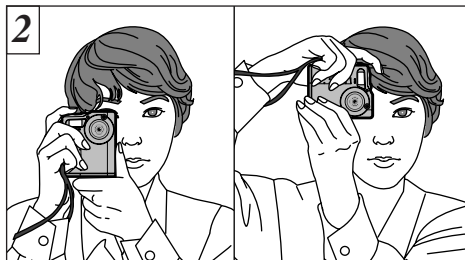
撮影時（すべての撮影モード）に十字ボタンの“ [拡大] ”を押すと、画面中央部分を拡大して撮影することができます。拡大倍率は液晶モニターに表示されます。“ [通常] ”を押すと、通常の撮影に戻すことができます。

◆デジタル拡大撮影時の記録画素数

ピクセル設定 / 倍率	1800	640
通　常	1,800×1,200	640×480
1.2×	1,280×1,024	—
2.5×	640×480	640×480

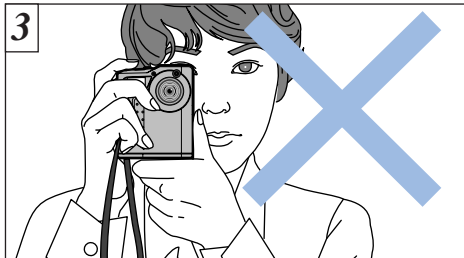
（ピクセル）

! ピクセル設定［1800］のときの倍率は、縦方向のピクセル数を基準としています。

! ピクセル設定が［640］の2.5×と［1800］の2.5×では、同じ撮影画質になります。

ファインダー撮影（省電力撮影）

撮影時（マクロ撮影を除く）に“表示”ボタンを押して、液晶モニターをOFFにします。液晶モニターONの場合と比べ、バッテリー撮影可能枚数が約3倍になります（➡P79）。

ストラップに手首を通し、両脇をしめ、両手でしっかり構えます。縦位置撮影ではストロボが上にくるように構えます。

❗約50cm〜∞の撮影が可能です。約50cmより近づいた撮影にはマクロモードを使用してください（➡P36）。

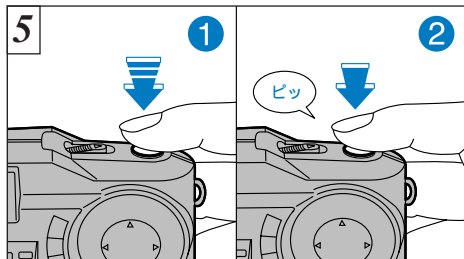
❗レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は69ページを参照してレンズをきれいにしてください。

レンズやストロボに、指やストラップがかからないようにしてください。

AFフレーム

ファインダーをのぞき、AFフレーム全体を被写体が満たすようにねらいます。

3

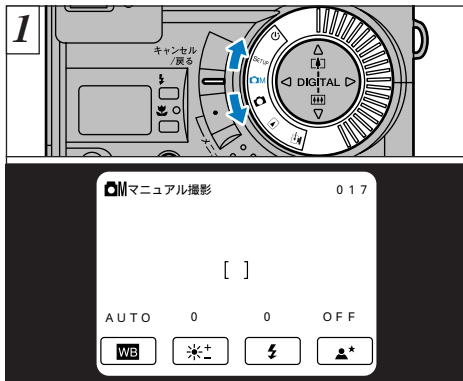
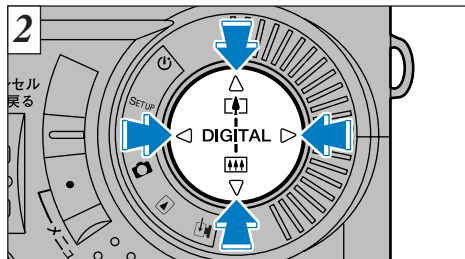
! 640×480では、ファインダーで見るよりも上下が広く撮影されます。画角を正確に合わせたい場合は、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

! 被写体がAFフレームから外れてしまう場合は、AFロック撮影を行ってください（➡P27）。

①シャッターボタンを半押ししてファインダーランプ［緑］が点滅から点灯に変われば、ピント合わせは完了です。
②半押しのままさらにシャッターボタンを押すと、“ピッ”と音が鳴り撮影されます。続いてデータが記録されます。

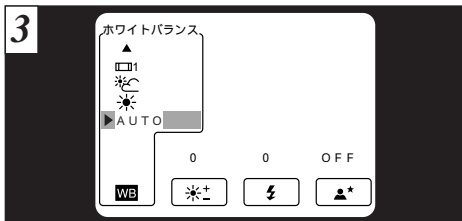
❗データ記録中はファインダーランプが橙色に点灯し、撮影することはできません。また、データ記録中は電源を切ったり、スロットカバーを開けないでください。
❗ストロボ充電中はファインダーランプが橙色に点滅します。

◆ファインダーランプ表示について

色	状態	内　容（理由）
緑	点灯	準備完了
	点滅	AF・AE動作中または手ブレ・AF警告
橙	点灯	スマートメディアに記録中、バッテリー充電中
	点滅	ストロボ充電中
赤	点滅	スマートメディアについての警告 ●未挿入、未フォーマット、フォーマット異常、ライトプロテクトシールがはられている、空き容量がない、スマートメディア異常、バッテリー充電動作異常 ＊液晶モニターONでは、液晶モニターに詳しい警告が表示されます（➡P74）。

M マニュアル撮影

モードダイヤルを“ M ”に合わせます。設定メニューが表示されます。

十字ボタンの“ ◀ ▶ ”でメニューを移動し、“ ▲ ▼ ”で項目を選びます。

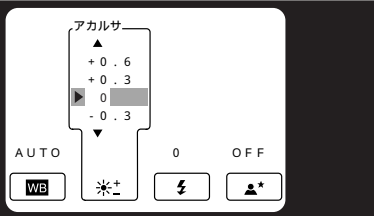
3

! 液晶モニターに映像が写っていない場合は、“ 表示 ”ボタンを押して、映像を表示してください。
! ファインダーを使った撮影（➡P38）では、設定メニューのみ表示されます。

WB ホワイトバランス

撮影時の環境・照明光に合わせ、ホワイトバランスを固定して撮影を行いたい場合に設定を変更します。
AUTO時は、人物の顔アップなどの被写体や特殊な光源下では、正しいホワイトバランスが得られない場合があります。その場合は光源に合わせたホワイトバランスを選択してください。
ホワイトバランスについてはP68をご参照ください。

AUTO ：**自動調整**
（光源の雰囲気を残した撮影）
（晴れ）：**晴れた屋外での撮影**
（日陰）：**日陰での撮影**
（蛍光灯）1 ：**青っぽく写る蛍光灯下での撮影**
（蛍光灯）2 ：**赤っぽく写る蛍光灯下での撮影**
（電球）：**電球、白熱灯下での撮影**

＊ストロボ発光時は、ホワイトバランス設定は無効になりますので、意図した撮影の場合ストロボを発光禁止にしてください。

！すぐ撮影したい場合は、“メニュー/実行”ボタンを押して決定してください。

アカルサ（露出補正）

被写体と背景のコントラスト（明暗の差）がきわめて大きい場合など、適正な明るさ（露出）が得られないときに使用します。

- **補正範囲は9段（−0.9〜+1.5EV，約0.3EVステップ）です。**

ストロボ発光時は、アカルサ設定は無効になりますので、意図した撮影の場合ストロボを発光禁止にしてください。

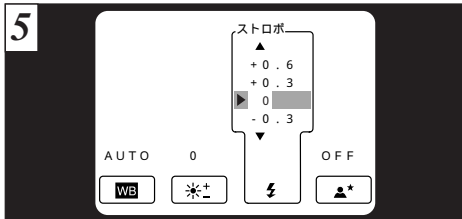
◆次のような被写体のとき効果があります◆

＋（プラス）補正

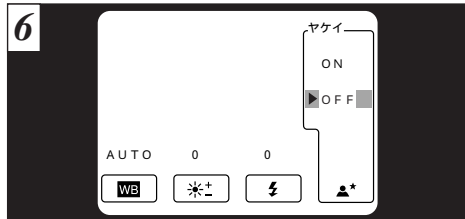
- 白っぽい紙に黒い文字の印刷物の複写（＋1.5EV）
- 逆光の人物撮影（＋0.6〜＋1.5EV）
- スキー場などの明るい場面や反射の強い場合（＋0.9EV）
- 画面内を空の部分が大きく占める場合（＋0.9EV）

－（マイナス）補正

- スポットライトを浴びた人物、特にバックが暗い場合（－0.6EV）
- 黒っぽい紙に白い文字の印刷物の複写（－0.6EV）
- 常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合（－0.6EV）

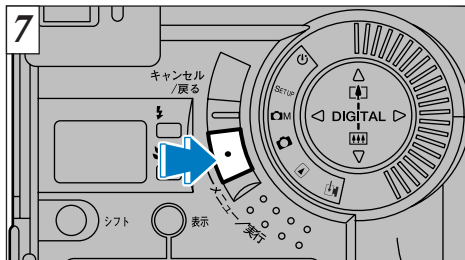
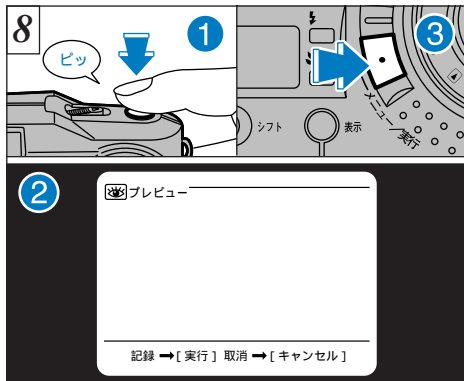
＊（　）内は補正のめやすです。

ストロボ

被写体が画面内で極端に小さい場合や、近距離でストロボ撮影する場合など、適正な明るさにならないときに使用します。

- 補正範囲は±2段（−0.6〜＋0.6EV、約0.3EVステップ）です。

夜景（スローシンクロ）

スローシャッターのストロボ発光モードです。夜景を撮影するときや、室内照明を利用した雰囲気のある撮影に使用します。

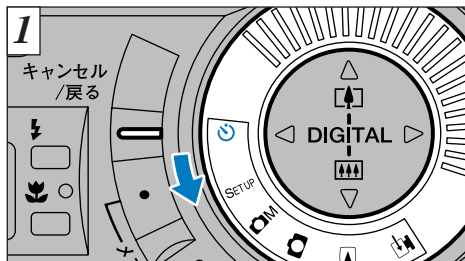
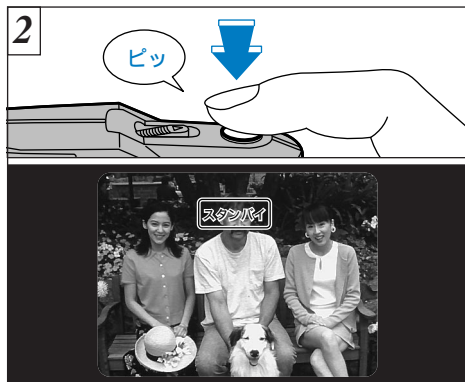
! スローシャッターになりますので、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

! 暗くてピントが合わない場合は、被写体から1.5m以上離れて撮影してください。

メニューを設定し終わったら、“ メニュー/実行 ” ボタンを押して決定します。設定した内容は電源を切っても保持されます。

❶シャッターボタンを押して撮影します。
❷液晶モニターに撮影結果が表示されます。
❸画像を記録したい場合は、“ メニュー/実行 ” ボタンを押してください。

3

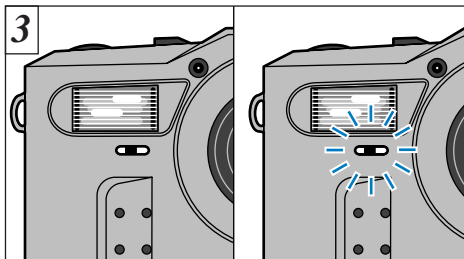
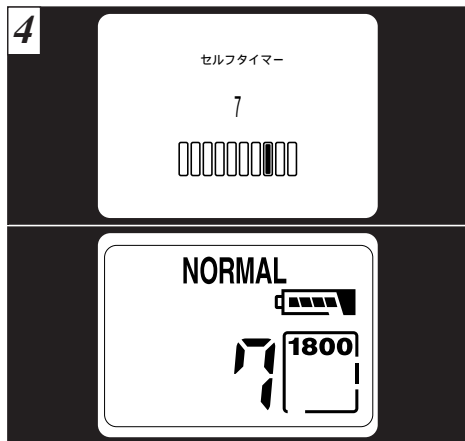
! バッテリーを長時間取り出したままにしたり、設定中にバッテリーを取り出したりすると、各種設定が工場出荷設定に戻ります。

! 意図した撮影結果でない場合、“ キャンセル/戻る ”ボタンを押してもう一度撮影し直してください。

セルフタイマー撮影

モードダイヤルを“ ”に合わせます。

被写体にAFフレームを合わせ、シャッターボタンを押すとAFフレーム内に見えるものにピントが合い、セルフタイマーがスタートします。

レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は、69ページを参照してレンズをきれいにしてください。

AFロック撮影も可能です（➡P27）。

カメラの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピンボケや露光不良になることがあります。

セルフタイマーランプが約5秒間点灯したのち点滅に変わり、さらに約5秒後に撮影されます。

撮影されるまでの間、液晶モニターと液晶表示パネルにカウントダウン表示されます。

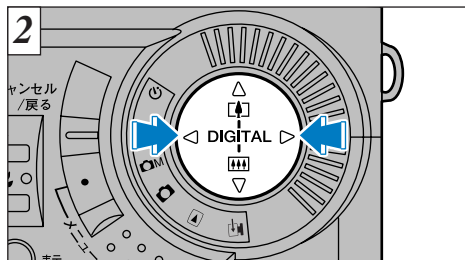
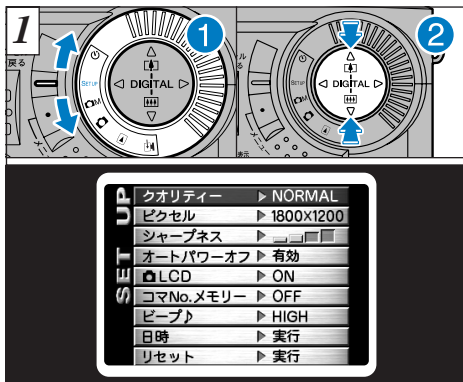
スタートしたセルフタイマー撮影は、“ キャンセル/戻る ”ボタンを押すと解除できます。

液晶モニターOFFの場合でも、液晶表示パネルで確認できます。

セットアップ ▶設定項目は次のとおりです。

項目名	表　示	工場出荷時	内　容
クオリティー	FINE/NORMAL/BASIC	NORMAL	記録する圧縮率を設定できます。22ページの設定切り換えと同じ機能です。
ピクセル	1800×1200/640×480	1800×1200	記録する画素数（画像サイズ）を設定できます。23ページの設定切り換えと同じ機能です。
シャープネス			4段階切り換えです。 パソコンでの処理に最適（輪郭をソフトに） 通常の撮影に最適 パソコン、プリンターでの大サイズプリントやビデオプロジェクター出力などで鮮明画像が得られます。 建物・文字などを特に鮮明にしたい撮影に最適
オートパワーオフ	有効/無効	有効	オートパワーオフ機能を使用するかしないかを切り換えます。“ 無効 ”にすると、約2分以上放置しても自動的に電源が切れません。
LCD	ON/OFF	ON	撮影モードにしたときに、液晶モニターを自動的にONにするかOFFにするかを切り換えます。
コマNo.メモリー	ON/OFF	OFF	コマNo.メモリー機能を使用するかしないかを切り換えます（➡P50）。
ビープ♪	HIGH/LOW/OFF	HIGH	操作したときの音量を切り換えます。“ OFF ”にすると音が鳴りません。
日時	実行	—	日付・時刻を設定できます（➡P17）。
リセット	実行	—	“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと、SETUP画面内の項目（日時は除く）を工場出荷設定に戻せます。

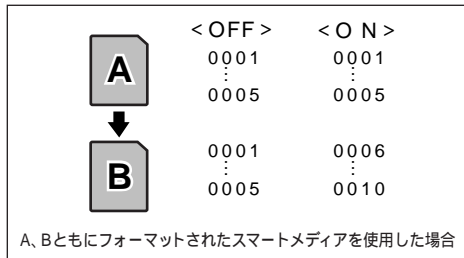
❶モードダイヤルを“ SETUP ”に合わせてSETUP画面を表示します。

❷十字ボタンの“ ▲▼ ”を押して項目を選択します。

十字ボタンで設定を変更できます（日時・リセットを除く）。

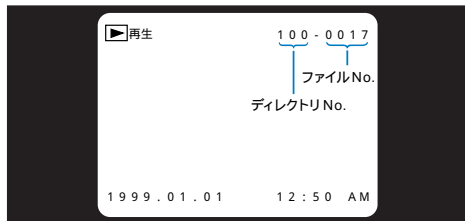
! バッテリーを交換するときは、必ず電源を切ってください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けたりACアダプターを抜くと、各種設定が工場出荷設定に戻ります。

3

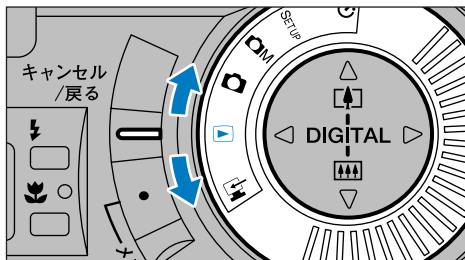
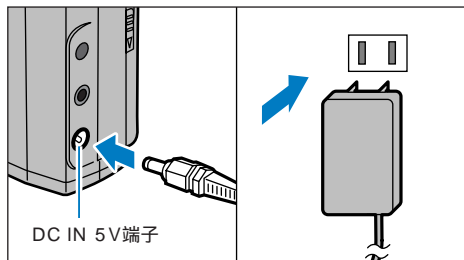
〈コマNo.メモリー〉

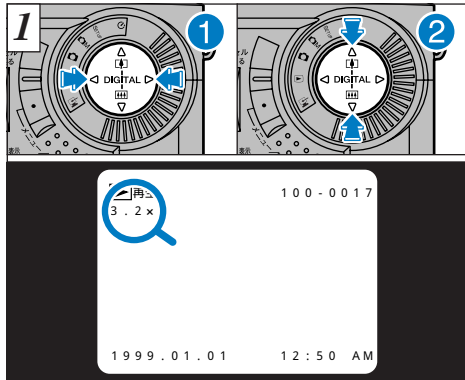
A、Bともにフォーマットされたスマートメディアを使用した場合

“ ON ”にすると、パソコンなどに画像を取り込んだときにファイル名が重複しないので、ファイルの管理に便利です。

OFF ：スマートメディアごとに「ファイルNo.0001」から撮影
ON ：最後に使用したスマートメディアの「最終ファイルNo.」から続けて撮影

記憶した「最終ファイルNo.」より、大きいファイルNo.の画像がスマートメディアにあった場合、大きいファイルNo.の続きから撮影されます。

画像を再生するとファイルNo.を確認できます。画面の右上の7けたの数字のうち下4けたがファイルNo.で、残りの3けたはディレクトリNo.です。

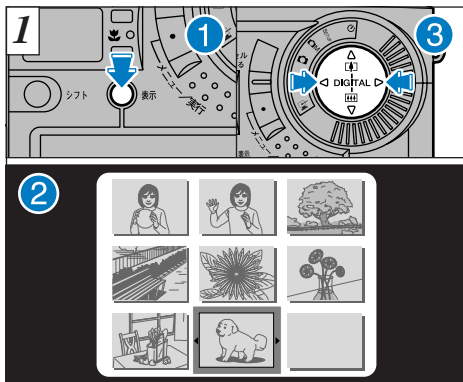
- スマートメディアを交換するときは、必ず電源を切ってからスロットカバーを開けてください。電源を切らずにスロットカバーを開けると、コマNo.メモリーが機能しません。
- ファイルNo.は0001から9999までで、それを超えるとディレクトリNo.が1つ繰り上がります。最大で999−9999までカウントされます。
- コマNo.メモリーを“ OFF ”にすると、記憶した「最終ファイルNo.」がリセットされます。

応用編 再生では

ここでは、モードダイヤルを“ ▶ ”に合わせた状態で行えるいろいろな機能を紹介します。このあとの操作説明は、モードダイヤルが“ ▶ ”に合っていることを前提に説明します。

また、コンセントが近くにある場合は、画像を再生したりエフェクトをかけている最中に電源が切れないように、ACパワーアダプター AC-5Vを接続してください。

再生ズーム

❶十字ボタンの“ ◀ ▶ ”でズームしたい画像を表示します。
❷十字ボタンの“ ▲ ▼ ”を押してズーム倍率を設定します。

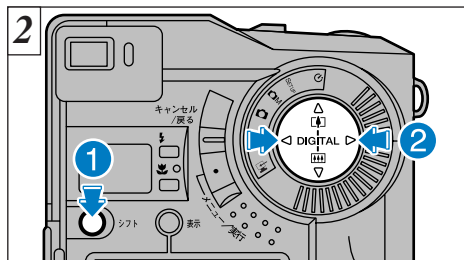
ズームしたあとに、❶“ シフト ”ボタンを押しながら❷十字ボタンの“ ▲ ▼ ◀ ▶ ”を押すと、見える範囲を移動することができます（ズーム送り）。

❗ズーム倍率は0.2ステップで4.0×までです。
❗ズーム中に“ ◀ ▶ ”を押すと、ズームが解除され次の画像に送られます。

❗“ キャンセル/戻る ”ボタンを押すと、表示が等倍に戻ります。
❗“ シフト ”ボタンを押すと操作ガイダンスが表示されます。

マルチ再生

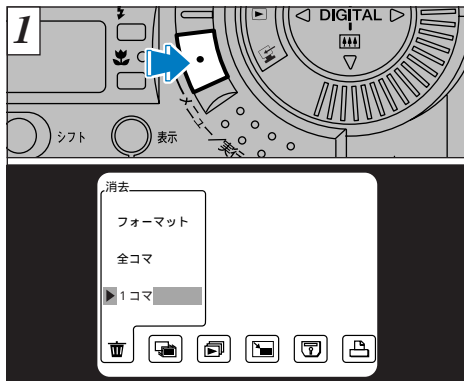
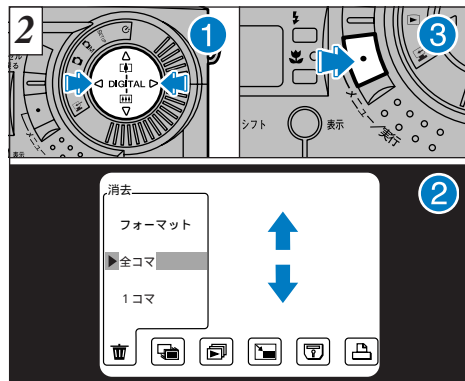
❶再生中に“ 表示 ”ボタンを2回押します。
❷マルチ再生（9コマ）になります。
❸十字ボタンの“ ◀ ▶ ”でコマを選べます。選んだ画像を大きく見たい場合は、再度“ 表示 ”ボタンを押してください。

液晶モニターの文字表示は、約3秒後に消えます。連続表示はできません。

再生ズーム中はマルチ再生はできません。

撮影した画像が9コマ以上ある場合、❶“ シフト ”ボタンを押しながら❷十字ボタンの“ ◀ ▶ ”を押すと、すぐにページを切り換えて表示できます。

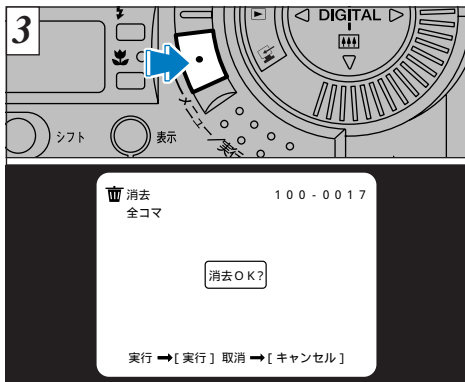
“ シフト ”ボタンを押すと操作ガイダンスが表示されます。

マルチ再生は、1コマ消去、1コマプロテクト、DPOFコマ設定、DPOF確認/解除で画像を選択する場合に便利です。

再生メニュー 全コマ消去/フォーマット

“メニュー/実行”ボタンを押すと液晶モニターにメニューが表示されます。

❶“ 消去”を選びます。
❷“全コマ”か“フォーマット”を選びます。
❸“メニュー/実行”ボタンを押します。

! 1コマ消去は30ページをご参照ください。

フォーマットするとすべての画像が消去されます。

実行を確認する画面が表示されます。ＯＫなら“メニュー/実行”ボタンを押して実行します。

●全コマ消去

すべての画像を消去します。

＊ディレクトリとプロテクトした画像は残ります。

●フォーマット

すべてのデータを消去してこのカメラ用に作り直します（初期化）。

“ !CARD NOT INITIALIZED ”や“ !CARD ERROR ”と表示された場合に使用します。

＊ディレクトリとプロテクトした画像も消えます。

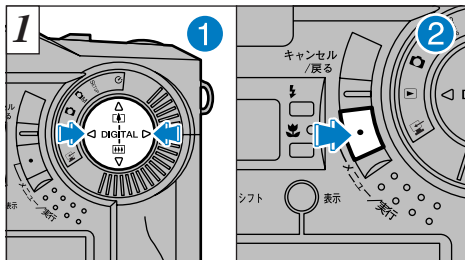
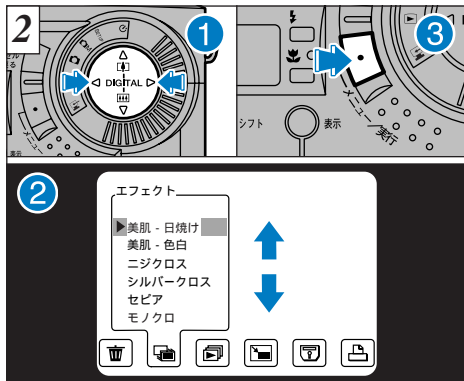
4

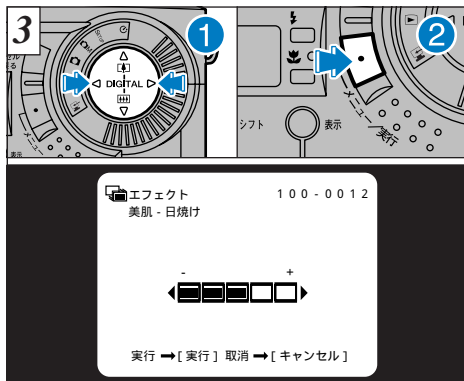
“ !CARD ERROR ”が表示された場合は、まずスマートメディアの電極部（金色の部分）を乾いた柔らかい布などで軽くふいてから、再度セットしてください。それでも表示される場合は、フォーマットをします。

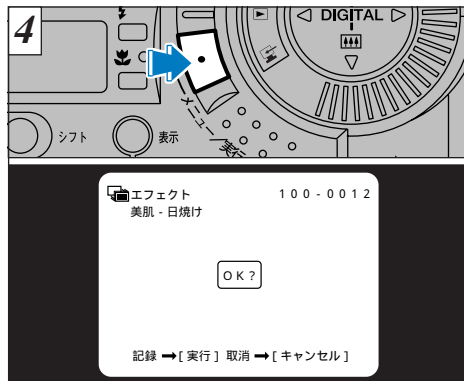
エフェクト機能

撮影済みの画像にエフェクトをかけると、独自の画像を作り出せます。自動的に別ファイルで記録されるので、エフェクトをかける前の画像も残せます。

- モノクロ　　：黒白の画像にします。
- セピア　　　：セピア色の画像にします。
- シルバークロス：輝いている効果を出します。
- ニジクロス　：虹色に輝いている効果を出します。
- 美肌－色白　：肌の色が暗く写った画像を明るくキレイにします。
- 美肌－日焼け：肌の色を日焼けしたようにします。

エフェクトをかけた画像を記録するには、スマートメディアに十分な空き容量が必要です。

❶エフェクトをかけたい画像を液晶モニターに表示します。
❷“メニュー/実行”ボタンを押してメニューを表示します。

❶“ エフェクト”を選びます。
❷実行したい種類を選びます。
❸“メニュー/実行”ボタンを押します（美肌以外を選んだ場合「4」へ）。

4

〈美肌を選んだ場合〉

❶エフェクトの強弱を設定します。
❷" メニュー/実行 "ボタンを押します。

エフェクトのかかった画像が表示されます。記録する場合は" メニュー/実行 "ボタンを押します。画像は別ファイルで記録されます。

" CARD FULL "と表示された場合は、記録できません。画像を消去するなどして、スマートメディアの空き容量を確保してください。

記録しない場合は、" キャンセル/戻る "ボタンを押してください。

オートプレイ（自動再生）

“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと液晶モニターにメニューが表示されます。

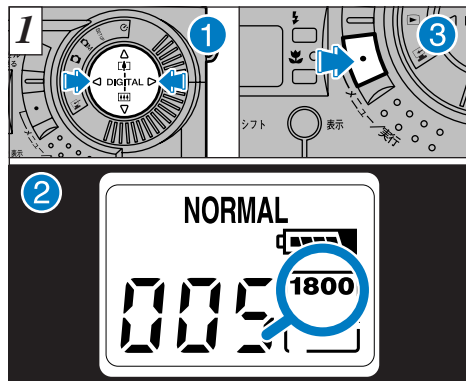
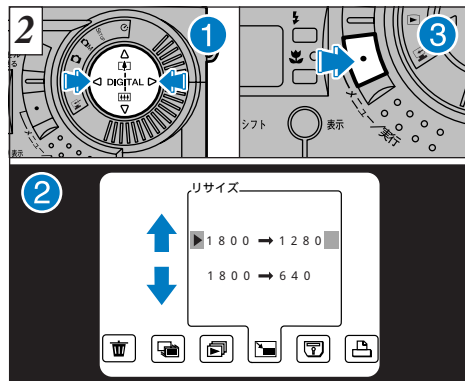
❶“ オートプレイ ”を選びます。

❷“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。画像が自動的にコマ送りされて再生されます。

❗オートプレイ中はオートパワーオフしません。

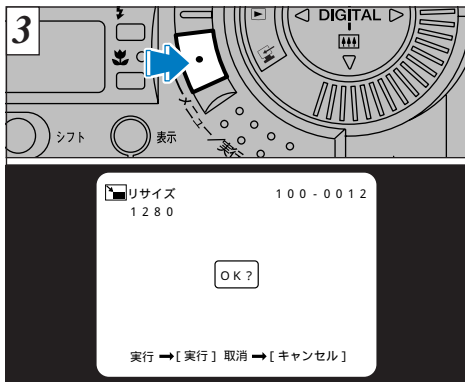
❗“ 表示 ”ボタンを1回押すと、液晶モニターに文字表示が現れます。

❗途中で止めたい場合は、画像が表示されているときに“ キャンセル/戻る ”ボタンを押してください。

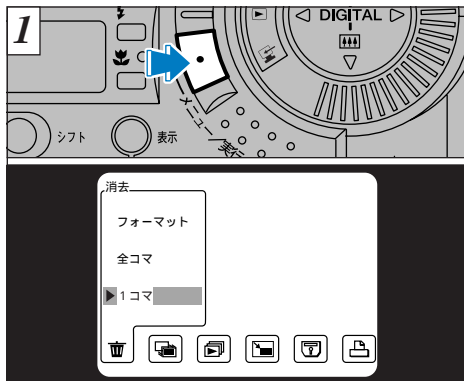
再生メニュー リサイズ（縮小）

❶リサイズしたい画像を液晶モニターに表示します。
❷液晶表示パネルで、画像サイズが［1800］であることを確認します。
❸“メニュー/実行”ボタンを押してメニューを表示します。

❶“ リサイズ”を選びます。
❷“1800 ➡1280”か“1800 ➡640”を選びます。
❸“メニュー/実行”ボタンを押します。

実行を確認する画面が表示されます。OKなら“メニュー/実行”ボタンを押して実行します。画像は別ファイルで記録されます。

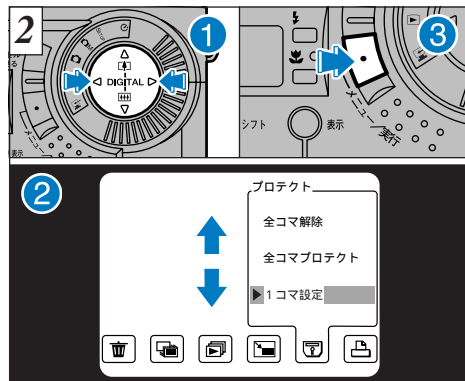
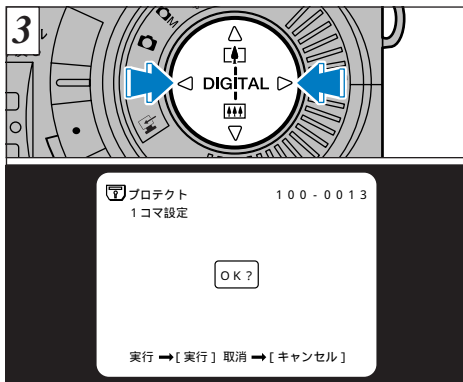
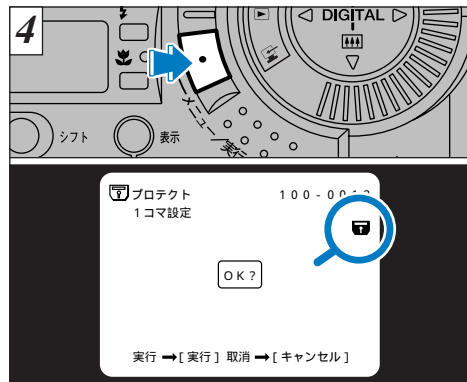
“ CARD FULL ”と表示された場合は、記録できません。画像を消去するなどして、スマートメディアの空き容量を確保してください。

リサイズをしない場合は、“キャンセル/戻る”ボタンを押してください。

“ NOT 1800 ”と表示された場合は、撮影した画像サイズが［1800］ではありません。リサイズできるのは、ピクセル設定が［1800］で撮影されている画像のみです。

4

再生メニュー 1コマプロテクト設定/解除

“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと液晶モニターにメニューが表示されます。

プロテクトとは：
画像を誤って消去しないように設定すること。

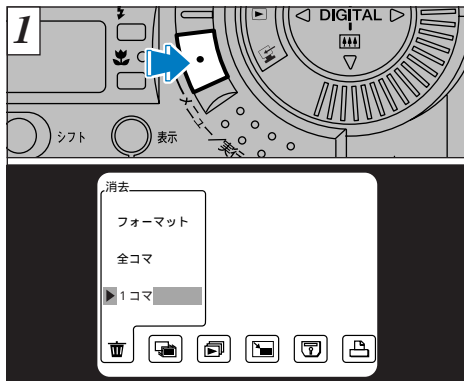
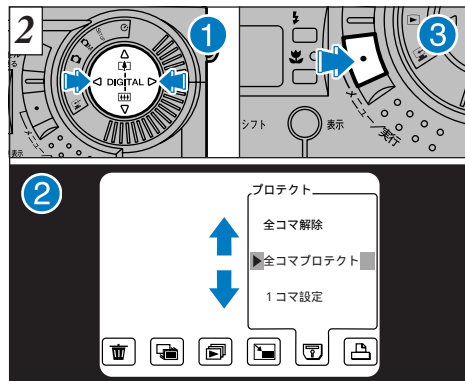
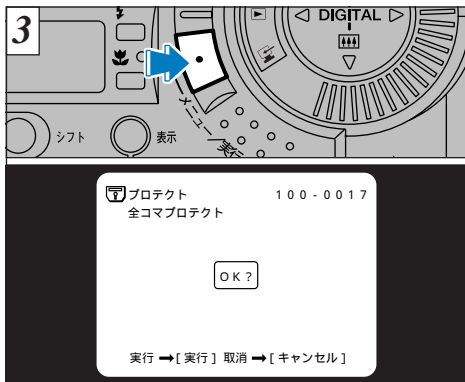
❶“ プロテクト ”を選びます。
❷“ 1コマ設定 ”を選びます。
❸“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

 ！画像を選ぶときは、マルチ再生すると便利です。

“ ◀ ▶ ”ボタンでプロテクトしたい画像を選びます。

“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと画像がプロテクトされ、右端に“ 🔒 ”マークが表示されます。プロテクトを解除するには、もう一度“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

❗ プロテクトをしない場合は、“ キャンセル/戻る ”ボタンを押してください。

❗ プロテクトを続けるには、「3」からの操作を繰り返します。

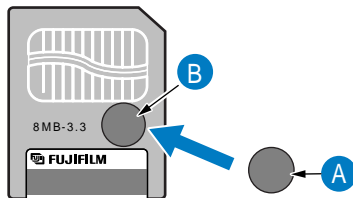
❗ プロテクトされていても、“ フォーマット ”するとすべての画像が消去されます。

4

全コマプロテクト設定/解除

“ メニュー/実行 ”ボタンを押すと液晶モニターにメニューが表示されます。

❶“ プロテクト ”を選びます。
❷“ 全コマプロテクト ”か“ 全コマ解除 ”を選びます。
❸“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

実行を確認する画面が表示されます。OKなら“ メニュー/実行 ”ボタンを押して実行します。

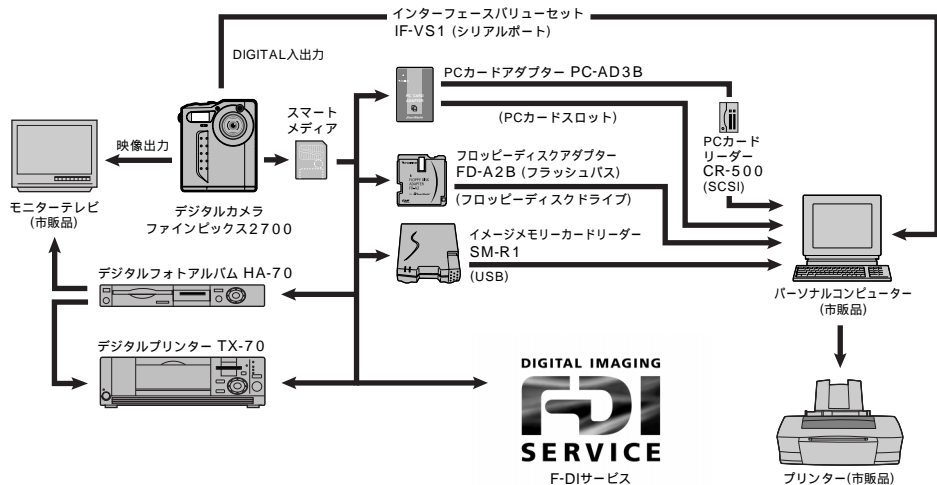
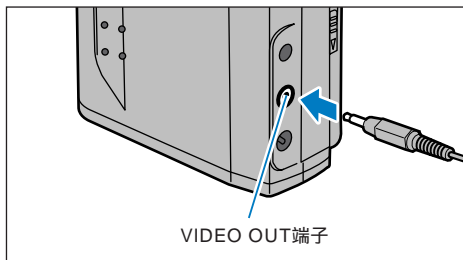
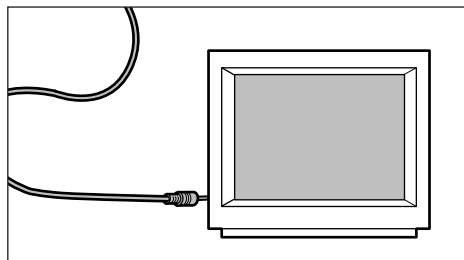
❗プロテクトされていても、“ フォーマット ”するとすべての画像が消去されます。

スマートメディア™の誤記録防止について

ライトプロテクトシールをはると、画像の記録/消去・フォーマットができません。シールをはがすと通常どおり使用できます。

＊必ず付属のライトプロテクトシールⒶを、ライトプロテクトエリア内Ⓑに、はみ出さないようにしっかりとはってください。
＊シールの端で手を切らないようにご注意ください。
＊シールが汚れていると、誤記録防止されないことがあります。
＊スマートメディアについて、詳しくは72ページをご参照ください。

4

システムアップ機器（平成11年3月現在）

▶別売の富士フイルム製品と組み合わせることにより、様々な用途向けにシステムアップすることができます。システムアップ機器について、詳しくはデジタルカメラ活用の手引き ―FinePix2700編― をご参照ください。

テレビを液晶モニターの替わりに使うには

カメラとテレビの電源を切ります。カメラの“VIDEO OUT端子”にビデオケーブル（付属品）のミニプラグを接続します。

テレビの映像入力端子にピンプラグを接続し、カメラとテレビの電源を入れて通常どおり撮影・再生を行ってください。

! コンセントが近くにある場合は、ACパワーアダプター AC-5Vを接続することをおすすめします。

! テレビの映像入力については、テレビの使用説明書をご参照ください。

用語の解説

AF・AEロック：このカメラでは、シャッターボタンを半押しするとピントと露出を固定（AF・AEロック）します。画面の端の被写体にピントを合わせたり、露出を決めてから構図を変えたい場合には、AF・AEロックをしてから構図を変えて撮影すると、きれいに撮影できます。

ATAカード：PC Card Standard ATAに準拠したPCカード（TYPE II）。

Exifファイル形式：Exif（Exchangeable Image File Format）は、JEIDAにて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFFやJPEGとの互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。

JEIDA：Japan Electronic Industry Development Association（日本電子工業振興会）の略。

JPEG：Joint Photographic Experts Groupの略。
カラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が選択できますが、圧縮率が高くなるほど伸張（画像の復元）したときの画質は劣化します。

PCカード：PC Card Standardに適合するカードの総称。

PC Card Standard：JEIDA/PCMCIAで定めたPCカードの規格。

PCMCIA：Personal Computer Memory Card International Association（米国）の略。

オートパワーオフ機能：電池の消耗や、ACパワーアダプター接続時のムダな電力消費を防ぐため、約2分間何の操作もしないと自動的に電源をOFFします。
- オートプレイ時やPCモード時は、オートパワーオフしません。
- “メニュー/実行”ボタンを押しながら電源をONすると、オートパワーオフ機能は働きません。
  電源を一度OFFにしたあと、再度電源をONにするとオートパワーオフ機能が働きます。
- 2分以上放置後の撮影では、ストロボが発光せず、適正な画像が得られない場合がありますので、ご注意ください。

ホワイトバランス：人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整をホワイトバランスを合わせるといいます。

正しくお使いいただくためのご注意

▶ ご使用の前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。

■避けて欲しい場所

次のような場所での本機の使用および保管は避けてください。

- 湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ。極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■砂がかからないようにしてください。

砂は本機の大敵です。海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因となるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内部やレンズなどに水滴がつく（結露）ことがあります。このようなときは電源を切り、1時間ほどたってからお使いください。また、スマートメディアに水滴がつくことがあります。このようなときはスマートメディアを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本機を長時間お使いにならないときは、バッテリー・スマートメディアを取り外して保管してください。

■カメラのお手入れ

- レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどは傷つきやすいので、固い物でこすったりしないでください。
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質・変形したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内のサービス窓口にご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因となることがあります。

電源についてのご注意

バッテリーについてのご注意

このカメラは、充電式リチウムイオンバッテリーを使用しています。ご使用に際しては、以下の点にご注意ください。特に別冊の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

＊NP-80は出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

■バッテリーの特性

- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1〜2日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地では、撮影できるコマ数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。低温時に消耗した電池を使用すると、カメラが作動しない場合があります。

■充電について

- ACパワーアダプター AC-5V（付属または別売）を使用して、本体で充電ができます。使いきったバッテリーの充電時間は約8時間です。別売のバッテリーチャージャー BC-80を使用すると、約1時間でバッテリーを充電できます。
- このバッテリーは、充電の前に放電したり、使いきったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがありますが、異常ではありません。
- 充電は周囲の温度が0℃〜＋40℃の範囲で可能ですが、バッテリーの性能を十分に発揮させるためには、約＋10℃〜＋30℃の範囲で充電してください。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、300回以上繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

危険ですので、次のことにご注意ください

⚠バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。

⚠火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。

⚠分解したり、改造したりしないでください。

壊れたり、寿命が短くなったりしますので、次のことにご注意ください

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。

バッテリーの特性に合わせて上手にお使いいただくために、次のことにご注意ください。

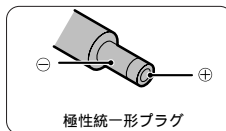
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 温度が上がらない、乾燥した場所に保管してください。長期間高温の場所に置いておくと寿命が短くなります。

長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生にはACパワーアダプターをお使いください。

■小形充電池のリサイクルについて

このマークは小形充電池（リチウムイオンバッテリーなど）のリサイクルマークです。小形充電池は埋蔵量の少ない高価な希少資源を使用していますが、これらの金属はリサイクルして再利用できます。

このようにリサイクルすることは、ゴミを減らし、環境を守ることにつながります。ご使用済みの小形充電池の廃棄に際しては、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープをはって、小形充電池リサイクル協力店へご持参ください。

ACパワーアダプターについてのご注意

極性統一形プラグ

本機には、必ず専用のACパワーアダプター AC-5V（EIAJ規格・極性統一形プラグ付き）をお使いください。

AC-5V以外のACパワーアダプターをお使いになると本機の故障の原因となることがあります。

- ACパワーアダプターの接点部には、他の金属が触れないようにしてください。ショートする危険があります。
- DIGITAL端子には差し込まないでください。故障の原因となることがあります。
- バッテリー動作中にACパワーアダプターを差し込まないでください。一度電源を切ってから差し込んでください。
- ACパワーアダプター動作中にバッテリーを差し込まないでください。一度電源を切ってから差し込んでください。
- バッテリーがない状態でACパワーアダプターを抜くと、日時の保持はしません。日時を設定し直してください。
- バッテリー充電中にACパワーアダプターを抜くと、ファインダーランプが赤色点滅することがありますが、故障ではありません。

スマートメディアTMについてのご注意

■スマートメディアについて

別売のカードは、デジタルカメラ用に開発された、新しい画像記録媒体SmartMedia（スマートメディア）です。スマートメディアの中には、半導体メモリー（NAND型フラッシュメモリー）が内蔵されており、このメモリーにデジタル化された画像データが記録されます。

記録は電気的に行われますので、一度記録した画像データを消去したり、再び記録することができます。

■データ保持について

以下の場合、記録したデータが消滅（破壊）することがあります。記録したデータの消滅（破壊）については、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

＊お客様または第三者がスマートメディアの使いかたを誤ったとき

＊スマートメディアが静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき

＊スマートメディアに記録動作中・消去（フォーマット）動作中にスマートメディアを取り出したり機器の電源を切ったとき

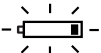
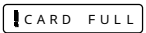
大切なデータは別のメディア（MOディスク、フロッピーディスク、ハードディスクなど）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。

■取扱上のご注意

- カードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- スマートメディアの記録中・消去（フォーマット）中は、絶対にスマートメディアを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。スマートメディアが破壊されることがあります。
- 指定された以外のスマートメディアはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因となります。
- スマートメディアは精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用・保管は避けてください。
- 高温多湿の場所、または腐食性のある環境下でのご使用・保管は避けてください。
- スマートメディアの接触面（コンタクトエリア）にゴミや異物がつかないように、また触らないようにご注意ください。汚れは乾いた柔らかい布などでふいてください。
- スマートメディアの持ち運びや保管時は、静電気による影響を避けるため、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。また、収納ケースがある場合は収納ケースに入れてください。
- 静電気を帯びたスマートメディアをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。

●ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
●長時間お使いになったあと、取り出したスマートメディアが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
●スマートメディアには寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。このときは新しいものをお買い求めください。
●インデックスエリアには、付属のインデックスラベルをはってください。市販のラベルなどは、はらないでください。カードの出し入れの際、故障の原因になります。
●インデックスラベルは、ライトプロテクトエリアに掛からないように、はってください。
●万一、当社の製造上の原因による初期品質不良がありました場合には、同数の新しいカードとお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

■スマートメディアをパソコンで使用する場合のご注意

●パソコンで使用したあとのスマートメディアを使って撮影する場合、スマートメディアのフォーマットはカメラで行ってください。
●スマートメディアをカメラでフォーマットして撮影・記録すると、自動的にディレクトリが作成されます。画像データは、このディレクトリ内に記録されます。
●パソコンでスマートメディアのディレクトリ名、ファイル名の変更・消去などの操作を行わないでください。スマートメディアがカメラで使用できなくなることがあります。
●スマートメディア上の画像データの消去はカメラで行ってください。
●画像データを編集する場合は、画像データをハードディスクなどにコピーし、コピーした画像データを編集してください。
●パソコンからスマートメディアに画像データを記録または消去する場合、あるいはスマートメディアに本カメラで記録された画像を読み出す場合は、弊社製のソフトウェア Data Transfer Software PICTURE SHUTTLE（別売のインターフェースバリューセットに付属）をご使用ください。

■主な仕様

形　式	デジタルカメラ用イメージメモリーカード SmartMedia（スマートメディア）
動作電圧	3.3V
使用条件	温度 0℃～＋40℃ 湿度 80%以下（結露しないこと）
外形寸法	37×0.76×45mm（幅/高さ/奥行き）

5

警告表示

▶液晶モニターに表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示		警告内容	処　　置
液晶モニター	液晶表示パネル		
(バッテリー表示)	(バッテリー表示)	カメラのバッテリーの容量が少ない。	バッテリーを交換するか、充電してください。
! NO CARD	- - -	スマートメディアが入っていない、または入れている向きが間違っている。	スマートメディアを入れるか、スマートメディアの向きを直してください。
! CARD NOT INITIALIZED	Err	スマートメディアがフォーマット(初期化)されていない。	スマートメディアをフォーマットしてください。
! CARD ERROR	Err	スマートメディアの電極部が汚れている。 スマートメディアが壊れている。 スマートメディアのフォーマットが異常。	スマートメディアの電極部を、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでもERRORの場合はスマートメディアを交換してください。
! CARD FULL	FLO	スマートメディアに空き容量がなく、これ以上記録できない。	画像を消去するか、空き容量のあるスマートメディアを使用してください。
! PROTECTED CARD	PPP	スマートメディアが誤記録防止状態になっている。	誤記録防止状態になっていないスマートメディアを使用してください。
! FRAME ERROR	—	正常に記録されていないデータを再生した。	再生することはできません。
! UNMATCHED DATA	—	カメラで記録したデータ以外のコマを再生した。	再生することはできません。

警告表示		警告内容	処　置
液晶モニター	液晶表示パネル		
! FILE NO. FULL	FL 1	コマNo.が999―9999に達している。	コマNo.メモリー機能をOFFにして、フォーマットしたスマートメディアに撮影してください。引き続きコマNo.メモリー機能を使用する場合には、コマNo.が100―0001から撮影されます。1コマ撮影してからコマNo.メモリー機能をONにしてください。
(手ブレ警告マーク)	―	シャッター速度が遅く、手ブレを発生しやすい状態。	フラッシュを強制発光にしてください。または三脚を使用してください。
! PROTECT	―	プロテクトされているコマを消去しようとした。	プロテクトを解除してください。
⚠ AF	―	AF（オートフォーカス）がうまく働かない。	• 暗い場合は被写体から1.5m以上離れて撮影してください。 • AFロック撮影をしてください。
! CANT EXECUTE	―	• エフェクト機能を実行できない。 • リサイズを実行できない。	サポートしていない画像ファイルのため、実行できません。
! PRINT ORDER FILE	―	DPOF設定されたファイルです。	DPOF設定を解除してください。その後、プロテクトを解除できます。
! DPOFファイル再設定 OK？	―	DPOFファイルにエラーがあります。または、他の機器で設定したDPOFファイルです。	DPOFファイルを新しく作成し、DPOF設定をすべてやり直す場合は“メニュー/実行”ボタンを押してください。

故障とお考えになる前に

▶故障と思う前に、もう一度お調べください。

症　　状	原　　因	処　　置
電源が入らない。	●バッテリーが消耗している。 ●ACパワーアダプターの電源プラグがコンセントから外れている。	●バッテリーを充電する。または、充電済みのバッテリーと交換する。 ●電源プラグをコンセントに差し込む。
電源が途中で切れる。	●バッテリーが消耗している。	●充電済みのバッテリーと交換する。
バッテリーの消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使っている。 ●端子が汚れている。 ●バッテリーの寿命。	●バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付ける。 ●バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布でふいてください。 ●充電済みの新しいバッテリーと交換する。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	●スマートメディアが入っていない。 ●スマートメディアに空き容量がなく、これ以上記録できない。 ●スマートメディアが誤記録防止状態になっている。 ●スマートメディアがフォーマットされていない。 ●スマートメディアの電極部が汚れている。 ●スマートメディアが壊れている。 ●オートパワーオフになり、電源が入っていない。 ●バッテリーが消耗している。	●スマートメディアを入れる。 ●新しいスマートメディアを入れるか、コマを消去する。 ●誤記録防止状態を解除する。 ●フォーマットする。 ●スマートメディアの電極部を乾いたきれいな布でふく。 ●新しいスマートメディアを入れる。 ●電源を入れる。 ●充電済みのバッテリーと交換する。

症　　状	原　　因	処　　置
ストロボ撮影ができない。	●モードダイヤルの設定位置がずれている。 ●ストロボ発光禁止モードになっている。 ●充電中にシャッターボタンを押した。	●モードダイヤルを正しい位置に設定する。 ●ストロボをオート、赤目軽減または強制発光モードにする。 ●充電が完了してからシャッターボタンを押す。
ストロボの充電ができない。	●記録できるスマートメディアが入っていない。 ●ストロボ発光禁止モードになっている。 ●バッテリーが消耗している。	●新しいスマートメディアを入れる、コマを消去する、誤記録防止状態を解除する。 ●ストロボをオート、赤目軽減または強制発光モードにする。 ●充電済みのバッテリーと交換する。
ストロボが発光したのに再生画面が暗い。	●被写体が遠い。	●被写体に近づく。
再生画像がぼやけている。	●レンズが汚れている。	●レンズを清掃する。
スマートメディアのフォーマットができない。	●スマートメディアが誤記録防止状態になっている。	●誤記録防止状態を解除する（ライトプロテクトシールをはがす）。
全コマの消去ができない。	●コマがプロテクトされている。	●プロテクトを解除する。
カメラのボタンやスイッチを操作しても作動しない。	●カメラの誤作動 ●モードダイヤルの設定位置がずれている。	●電源（バッテリー）をいったん取り外して、再び取り付け直してから操作する。 ●モードダイヤルを正しい位置に設定する。
“表示”ボタンを操作しても液晶モニターに画像が表示されない。	●モードダイヤルの設定位置がずれている。	●モードダイヤルを正しい位置に設定する。

5

主な仕様

システム

●**型式**
デジタルカメラ

●**記録メディア**
スマートメディア（3.3V）

●**スマートメディア標準撮影枚数**
＊撮影枚数は被写体により多少の増減があります。かつ、撮影枚数はカード容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。

画質モード	画像圧縮率	画像1枚のデータサイズ*	MG-4S (4MB)	MG-8S (8MB)	MG-16S (16MB)	MG-32S (32MB)
FINE	約1/5	約860KB	4	8	18	36
	約1/4	約160KB	23	47	90	181
NORMAL	約1/10	約430KB	8	17	35	71
	約1/8	約90KB	44	90	165	332
BASIC	約1/20	約220KB	17	35	70	142
	約1/16	約50KB	70	141	248	498

*上段：1,800×1,200ピクセル
*下段：640×480ピクセル

●**記録方式**
JPEG準拠（Exif Ver.2.1）

●**記録画素数**
1,800×1,200ピクセル/640×480ピクセル
1,280×1,024ピクセル（拡大撮影、リサイズ時のみ）

●**撮像素子**
1/2インチ正方画素インターライン方式CCD、原色フィルター採用　総画素数：約230万

●**撮像感度**
ISO 120相当

●**レンズ**
フジノン単焦点レンズ F3.2/F8

●**焦点距離**
7.6mm（35mmカメラ換算35mm相当）

●**ファインダー**
実像式光学ファインダー、視野率：約80%

●**露出制御**
TTL64分割測光、プログラムAE（マニュアル撮影時、露出補正可能）

●**ホワイトバランス**
オート（マニュアル撮影時、6ポジション選択可能）

●**撮影可能範囲**
標準　：約50cm～無限遠
マクロ：約9cm～50cm

●**電子シャッター**
可変速　1/4秒～1/1000秒（メカニカルシャッター併用）

●**絞り**
F3.2/F8自動切り換え

●**セルフタイマー**
タイマー時間約10秒

●**消去方式**
1コマ消去・全コマ消去・フォーマット（初期化）

●**液晶モニター**
2型　低温ポリシリコンTFT13万画素

●**ストロボ**
調光センサーによるオートストロボ
撮影可能距離：約0.3m～2.5m
発光モード　：オート/赤目軽減/強制発光/発光禁止

入・出力端子

●**VIDEO出力端子**
ミニ（φ3.5mm）ピンジャック（1）

●**DIGITAL（RS-232C、RS-422）端子**
ステレオミニミニ（φ2.5mm）ジャック（1）
パソコンとのデータの送受信

●**DC入力端子**
専用ACパワーアダプター AC-5V接続

電源部、その他

●**電源**
充電式バッテリー NP-80（付属または別売）または専用ACパワーアダプター AC-5V（付属または別売）使用

●**バッテリー撮影可能枚数**

電池の種類	液晶モニターON状態	液晶モニターOFF状態
バッテリー（NP-80）	約80枚*	約250枚*

*バッテリーをフル充電した場合

＊常温でストロボ使用率50%の場合の、連続して撮影できる枚数のめやすです。ただし、カメラの使用環境温度やバッテリー充電量のバラツキによる変動はあります。

●**使用条件**
温度0℃～＋40℃ 湿度80%以下（結露しないこと）

●**本体外形寸法**
80×97.6×33mm（幅/高さ/奥行き）（付属品、突起部含まず）

●**本体質量**
約230g（付属品、バッテリー、スマートメディア含まず）

●**撮影時質量**
約265g（バッテリー、スマートメディア含む）

●**付属品**
5ページをご覧ください。

●**別売アクセサリー**
80ページをご覧ください。

＊仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
＊液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや、常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

別売アクセサリーの紹介（平成11年3月現在）

▶ **オプション（別売）のアクセサリーを使うと、さらに便利な撮影ができます。**
使いかたや、接続のしかたについては、お使いになるアクセサリーの「使用説明書」をご覧ください。

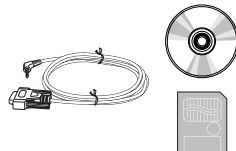
●スマートメディア™

別売のスマートメディアです。以下の4種類がお使いいただけます。

- ●MG-4SB　：4MB、3.3V動作
- ●MG-8SB　：8MB、3.3V動作
- ●MG-16SB　：16MB、3.3V動作
- ●MG-32SB：32MB、3.3V動作

●インターフェースバリューセット IF-VS1

Windows、Macintoshと画像データのやりとりができるようになります（専用接続ケーブル3種類、アプリケーションソフト付き）。8MBのスマートメディアも同梱しています。

- ●Windows95/98/NT4.0（日本語版）
- ●Macintosh

●フロッピーディスクアダプター FD-A2B（FlashPath：フラッシュパス）

通常の3.5インチのフロッピーディスクと同じ形をしたアダプターです。スマートメディアをフロッピーディスクアダプターに挿入し、フロッピーディスクドライブに差し込むだけで、スマートメディアの画像をパソコンに取り込むことができます。

- ●フロッピーディスクアダプタ- FD-A2B対応OS
  - ・Windows95/98（IBM PC/AT互換機）
  - ・Windows95 4.00. 950B（OSR2）以降/Windows98（NEC PC-9821シリーズ）
  - ・漢字Talk7.5.3～MacOS8.1（Power Macintoshシリーズ）読込み専用
- ●別途専用アプリケーションソフト（IF-VS1に付属）のご利用をおすすめします。

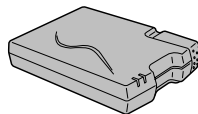
●PCカードアダプター PC-AD3B

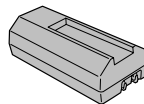
スマートメディアをPC Card Standard ATA（PCMCIA2.1/JEIDA4.2）に準拠したPCカード（TYPE II）として使えます。

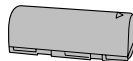
● 3.3V/5V動作のスマートメディアでご使用になれます。
● 別途専用アプリケーションソフト（IF-VS1に付属）のご利用をおすすめします。

●イメージメモリーカードリーダー SM-R1

イメージメモリーカード（スマートメディア）からパソコンに、簡単に画像の読み出し、書き込みが可能です。USBインターフェースにより高速なデータ転送を行います。

● Windows98/iMac

●バッテリーチャージャー BC-80

充電式バッテリーを短時間で充電します。
充電時間は約1時間です（NP-80充電時）。

●充電式バッテリー NP-80

リチウムイオンタイプの高容量充電池です。

●ソフトケース SC-FX27

ファインピックス2700専用のケースです。カメラを持ち運ぶときに、ゴミやほこり、軽い衝撃からカメラを保護します（本革製）。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買上げ日より1年間です。

アフターサービス

■調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

■それでも調子が悪いときはサービスステーションへ

お買上げ店、またはフジサービスステーションにご相談ください。

■保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■修理部品の保有期間

本機の補修用部品は、製造打ち切り後8年をめやすに保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■修理ご依頼に際してのご注意

- 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添付してください。
- お買上げ店やフジサービスステーションの窓口で、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。
- 修理箇所のご指定のないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
- 修理料金が高く見込まれる修理のときは、「○○○○円以上は連絡してほしい」と料金をご指定ください。ご指定のないときは、修理をすすめさせていただきます。
- 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
- 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱に入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
- 修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な調整検査を行いますので普通修理品の場合はフジサービスステーションで、お預かりしてから通常7～14日位をご予定ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

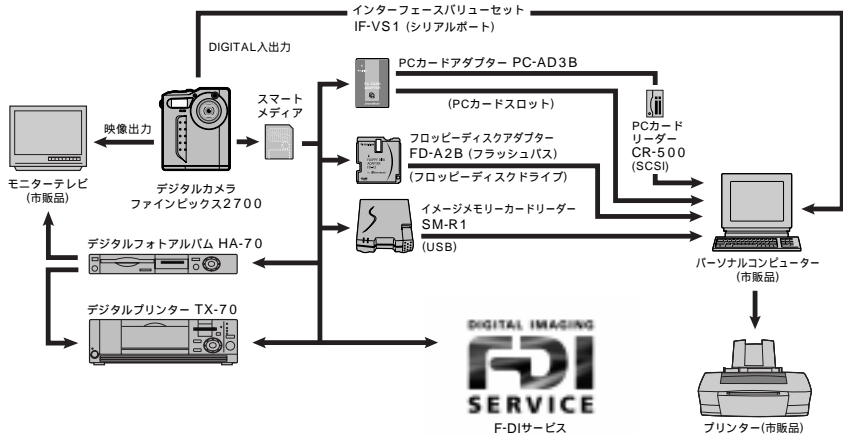
■型名　　：ファインピックス2700
■故障の状況：できるだけ詳しく
■ご購入年月日

デジタルカメラ活用の手引き
―― FinePix2700編 ――

ここでは
・デジタルカメラで撮影した画像をパソコンに取り込む方法
・ラボ プリントサービスへの注文が簡単にでき、ご家庭でのプリントを自動化できる
DPOF（Digital Print Order Format）の説明とその活用方法
をご紹介しています。

システムアップ機器

パソコンへの画像の取り込みは、以下の4とおりの方法があります（IF-VS1、FD-A2B、PC-AD3B、SM-R1）。撮影画像をプリントするには、F-DIサービスの利用などの方法があります。

インターフェースバリューセット IF-VS1（シリアルポート）
DIGITAL入出力
映像出力
スマートメディア
モニターテレビ（市販品）
デジタルカメラ ファインピックス2700
PCカードアダプター PC-AD3B
（PCカードスロット）
フロッピーディスクアダプター FD-A2B（フラッシュパス）
（フロッピーディスクドライブ）
PCカードリーダー CR-500（SCSI）
イメージメモリーカードリーダー SM-R1（USB）
パーソナルコンピューター（市販品）
デジタルフォトアルバム HA-70
デジタルプリンター TX-70
DIGITAL IMAGING FDI SERVICE
F-DIサービス
プリンター（市販品）

上図のようにインターフェースバリューセット IF-VS1、フロッピーディスクアダプター FD-A2B、PCカードアダプター PC-AD3B、イメージメモリーカードリーダー SM-R1のいずれか1つをご使用になれば、デジタルカメラからパソコンへの画像データの取り込みが可能です。またFinePix2700のDPOF設定機能の活用により、F-DIサービスへのご注文が簡単にできたり、ご家庭でのプリントが自動化*できます。
＊DPOF対応のプリンターを使う場合

パソコンへの画像データの取り込み①

インターフェースバリューセット IF-VS1を使用する場合

1

- **パソコンとカメラを付属のケーブルで接続し、画像データを転送します。**
- **画像の簡単な加工や整理保存ができるアプリケーションソフトを収めたCD-ROMと8MBのスマートメディアが同梱されています。**
- **Windows95/98、WindowsNT4.0、Macintosh/MacOS7.6.1〜MacOS8.5.1（iMacを除く）で利用可能です。**

2

必ずカメラとパソコンの電源を切ってください。カメラのDIGITAL入出力端子に専用ケーブルのミニミニプラグ側を接続し、もう片方の端をパソコンに接続します。

	パソコンの接続ポート
Windows	COM1ポート〜COM4ポートのいずれか
Macintosh	モデムポートもしくはプリンターポート

3

必ずACパワーアダプター AC-5Vを接続してください。データ通信中に電源が切れると、正常なデータの送受信ができません。

4

モードダイヤルを"　"に合わせ、カメラの電源を入れてからパソコンを起動します。ソフトウェアを使用して画像の送受信をします。

! 確実に専用ケーブルが接続されているのを確認してから電源を入れてください。
! ソフトウェアの使いかたはインターフェースバリューセットの使用説明書をご覧ください。
! 接続前にパソコンにソフトウェアをインストールしてください。また、専用ケーブル以外は使用しないでください。

パソコンへの画像データの取り込み②

フロッピーディスクアダプター FD-A2B を使用する場合

- **カメラからスマートメディアを取り出し、FD-A2Bに差し込みます。**
- **これをパソコンのフロッピーディスクドライブに挿入すると、フロッピーディスクでファイルを扱う場合と同じ要領で、カメラで撮影した画像データを取り扱うことができます。**
- **Windows98**
  Windows95（DOS/V機）
  Windows95/OSR2（NEC PC-9821シリーズ）
  Power Macintosh/漢字Talk7.5.3〜MacOS8.1
  で利用可能です。

! PCカード経由やUSBインターフェース経由で接続するタイプのフロッピーディスクドライブではお使いになれません。
! LS-120やHiFDなど高容量タイプのフロッピーディスクドライブではお使いになれません。
! Power Macintoshでご使用の場合は読み込み専用となります。
! 画像の閲覧や加工、プリントには別途画像アプリケーションソフト（JPEG対応）が必要です。

パソコンへの画像データの取り込み③

PCカードアダプター PC-AD3B を使用する場合

- **カメラからスマートメディアを取り出し、PC-AD3Bに差し込みます。**
- **これをノートパソコンなどのPCカードスロットに挿入すると、PCメモリーカードでファイルを扱う場合と同じ要領で、カメラで撮影した画像データを取り扱うことができます。**
- **Windows95/98、Macintosh/漢字Talk7.5.5〜MacOS8.5で利用可能です。**

! PCカードTYPEⅡ対応のPCカードスロット内蔵またはPCカードリーダー/ライターが接続されたパソコンで利用可能です。
! 画像の閲覧や加工・プリントには、別途画像アプリケーションソフト（JPEG対応）が必要です。

パソコンへの画像データの取り込み④

イメージメモリーカードリーダー SM-R1を使用する場合

■**Windows**
パソコン…IBM PC/AT互換機（DOS/V機）/NEC PC98-NX（USBが標準サポートされているモデル）
OS…Windows98
■**Macintosh**
パソコン…iMac
OS…MacOS8.1〜8.5

- **カメラからスマートメディアを取り出し、イメージメモリーカードリーダーSM-R1に差し込みます。**
- **パソコンの外付けドライブのファイルを扱う場合と同じ要領で、カメラで撮影した画像データを取り扱うことができます。**

! USBインターフェースを装備したパソコンでのみ利用可能です。
! 画像の閲覧や加工・プリントには、別途画像アプリケーションソフト（JPEG対応）が必要です。

DPOFについて

DPOFとはDigital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたいコマやその枚数などの指定情報をメモリーカードなどに記録するときの形式です。

- FinePix2700（DPOF対応デジタルカメラ）では上記の情報をカメラの操作でスマートメディアに記録することができます（裏面で操作法を詳しく説明しています）。
- DPOF情報を記録したスマートメディアを、F-DIサービス取り扱い店にお持ち込みいただくだけで、指定情報どおりの高画質プリントサービスが受けられます。
- DPOF対応プリンターでは、DPOF情報があれば、指定コマを指定枚数だけ自動的にプリントできます。

富士写真フイルム株式会社
〒106-8620 東京都港区西麻布2-26-30
BB09494-100(1)
FGS-991101-FG

FinePix2700におけるプリント指定の方法

FinePix2700ではDPOFによるプリント指定が可能です。
設定ができる項目は以下の2点です。
・プリントするコマとその枚数の指定
・日付け入りプリントの指定

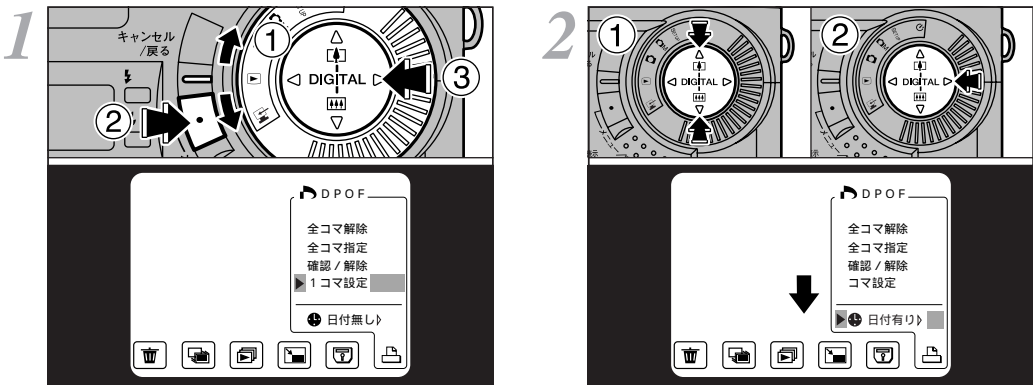
ここでは、FinePix2700でのプリント指定の手順について詳しく解説しています。

＊プリンターによっては日付、枚数指定機能に対応していない場合がありますのでご注意ください。
＊プリント指定の操作中に以下の警告表示が出る場合がありますので、ご注意ください。

! PRINT ORDER FILE　（➡FinePix2700 使用説明書 P.75）
プリント指定されたコマは自動的にプロテクトされます。そのコマのプロテクトを解除する場合は、プリント指定の解除が必要です。

! DPOFファイル再設定 OK?　（➡FinePix2700 使用説明書 P.75）
他のカメラでプリント指定されたスマートメディアを挿入した場合、プリント指定情報はすべてリセットされ上書きされます。

DPOF　日付設定

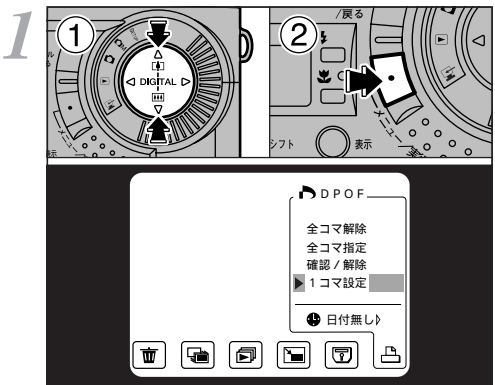
1

プリントに撮影した日付を入れるか入れないかを選べる機能です。
①モードダイヤルを“ ▶ ”に合わせ
②“ メニュー/実行 ”ボタンを押して、液晶モニターにメニューを表示させます。
③“ ▶ ”を押してDPOFを選びます。

2

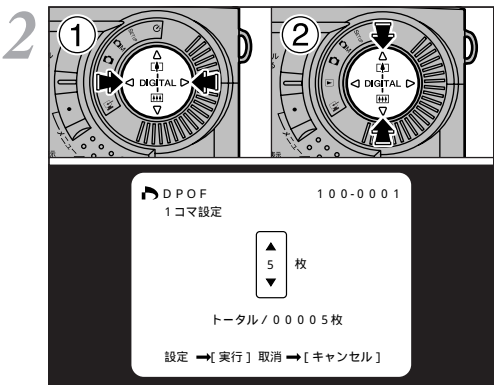
①“ 日付 ”を選びます。
②“ ▶ ”を押すと、“ 日付有り ”か“ 日付無し ”が設定できます。その後、設定を変更するまですべてに有効です。

! 他の設定の前に、必ず日付設定を行ってください。

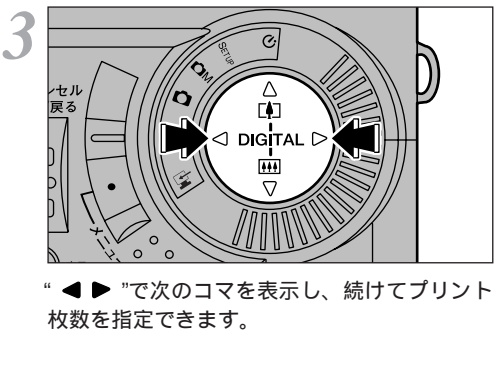
DPOF　コマ設定

1

①“ 1コマ設定 ”を選びます。
②“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

! コマ設定の前に、必ず日付の有無を設定してください。

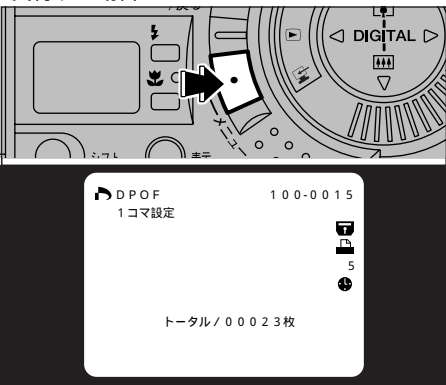
2

①“ ◀ ▶ ”で設定するコマを表示させます。
②“ ▲▼ ”でプリント枚数を指定します。

! 指定できるプリント枚数は99枚までです。
! 画像を選ぶときはマルチ再生すると便利です。

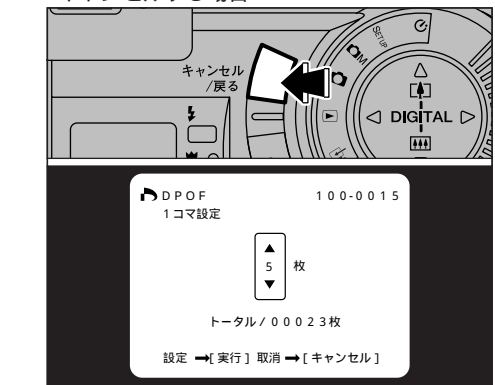
3

“ ◀ ▶ ”で次のコマを表示し、続けてプリント枚数を指定できます。

! 指定したプリント枚数、日付設定は自動的に確定され、さらに、これらの情報が消去されないように、そのコマがプロテクトされます。

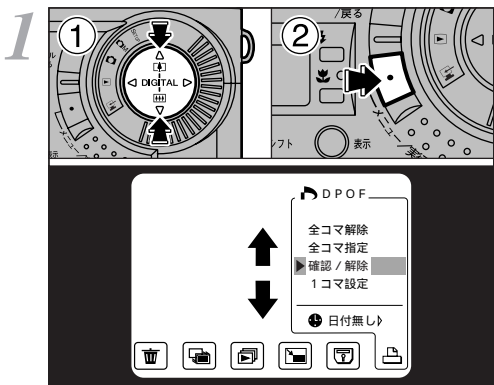
4

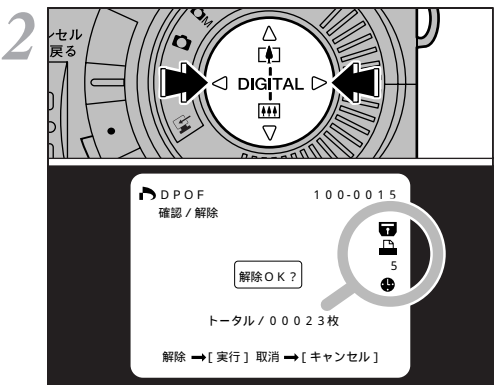
〈実行する場合〉

設定が終わったら、必ず“ メニュー/実行 ”ボタンを押して決定してください。液晶モニターにトータル枚数が表示され、その後メニューに戻ります。
確定したコマには“ ”と枚数、日付設定有りの場合は“ ”が画面の右端に表示されます。

! “ トータル ” は指定したプリント枚数の合計です。

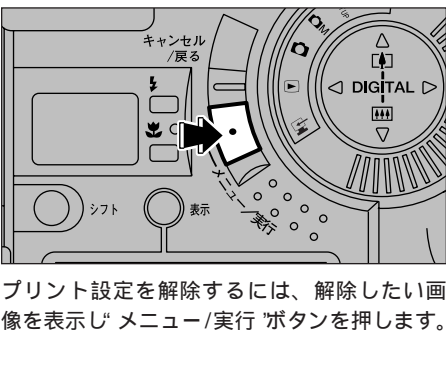
〈キャンセルする場合〉

キャンセルした場合は、選択中のコマの設定のみ無効になります。
それまでの設定は確定されています。

DPOF　確認/解除

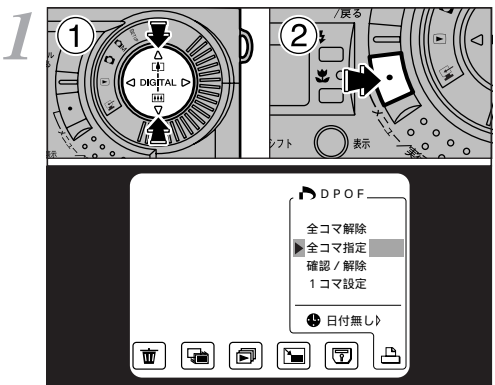
1

①“ 確認/解除 ”を選びます。
②“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

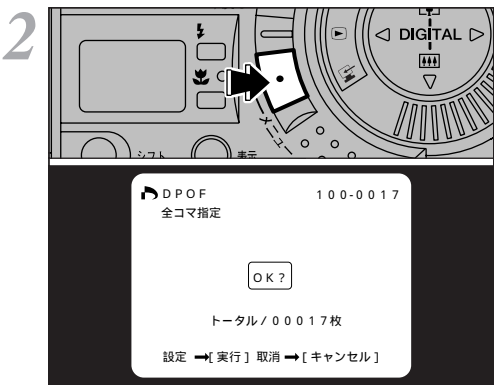
2

“ ◀ ▶ ”を押すと、プリント枚数設定をしたコマだけを確認できます。各コマの設定は画面の右端に表示されます。

! 画像を選ぶときはマルチ再生（➡FinePix2700 使用説明書 P.53）すると便利です。

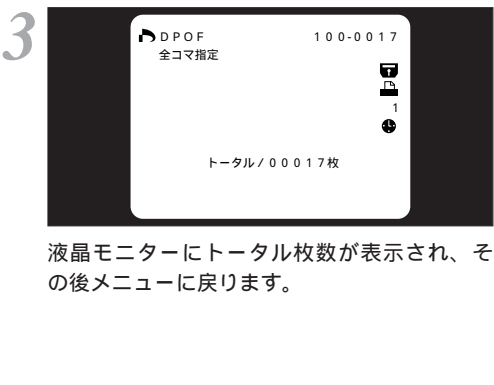
3

プリント設定を解除するには、解除したい画像を表示し“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

DPOF　全コマ指定/全コマ解除

1

①“ 全コマ指定 ”か“ 全コマ解除 ”を選びます。
②“ メニュー/実行 ”ボタンを押します。

2

実行を確認する画面が表示されます。OKなら“ メニュー/実行 ”ボタンを押して実行します。

! “ 全コマ指定 ”は、すべての画像を1枚ずつプリントする指定をします。
! コマ設定で枚数を指定していても、すべて1枚ずつのプリント指定に変更されます。

3

液晶モニターにトータル枚数が表示され、その後メニューに戻ります。

! “ トータル ”は指定したプリント枚数の合計です。
! 全コマ解除した場合“ トータル ”は00000枚になります。